









一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

活動報告とご案内
2023~2024



理事長就任のごあいさつ

新理事長　太田 敏夫

（セブン-イレブン富士吉田おひめ坂通り店オーナー）

このたび、前理事長 山本憲司氏の後を引き継ぎ、理事長の重責をお引き受けすることになりました。就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

セブン-イレブン記念財団は、2023年11月20日に設立30周年を迎え、今まで活動内容の質を追求し続けながら基盤を固めてきた結果、この先の進むべき方向性が見えてきました。そのひとつが「セブンの森・セブンの海の森」を全都道府県にひろげ、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となり、地域の皆様と一緒に環境を守る活動を活性化させていくことです。また、日本全国の美しい自然や文化、貴重な生態系を守り、次世代に引き継ぐためにも、より多くの環境市民団体の皆様が助成金を活用できるよう支援していきたいと考えております。

微力ではありますが、これからも当財団の発展に全力をあげて取り組んでまいりますので、引き続き一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長退任のごあいさつ



前理事長　山本 憲司

（セブン-イレブン豊洲店オーナー）

このたび、2024年2月29日をもちまして、セブン-イレブン記念財団の理事長を退任し、名誉会長に就任致しました。1993年のセブン-イレブンみどりの基金設立以来、皆様には格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

就任以来の30年間を顧みますと、1990年代にさまざまな環境問題が認識されるようになり、セブン-イレブンも店舗数の増加とともにゴミ問題などへの対応が必要だと考えられるようになりました。

「環境」をテーマにした社会貢献活動を掲げ、1994年より店頭募金箱を設置し、2001年には環境市民団体への助成制度を開始、また2006年には現在の「セブンの森・セブンの海の森づくり」のもととなる、「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」が開始されました。

そしてお客様からお預かりする募金や寄付金も大きくなり、2010年に一般財団法人セブン-イレブン記念財団へ組織を改め、透明性や公平性を確立させながら、事業を継続してまいりました。災害発生時には、ボランティアの方々が初動で現場に赴けるように、「支援」を提供する連携協定を締結し、また現在は環境省との協力協定や国立公園保全活動に関する協定を締結、これから更に支援の幅をひろげていけるよう進めていきたいと考えております。

これまで支えて頂きました多くの方々に衷心よりお礼申し上げるとともに、立場は変わりますが、これからも日本の美しい自然を次世代につなげていくために地域に根ざした社会貢献活動に努めてまいります。

お客様の募金は、環境をテーマにした社会貢献活動に活かされています。

募金の流れと事業図





店頭募金箱に寄せられたお客様からの募金

「マッチングギフト制度」によるセブン-イレブン本部からの寄付金



2023年度

募金額	4億459万9793円
店舗数	21,535店（2024年2月末日現在）
累計募金額	96億2728万7628円（1994年度～2023年度）

●個人や企業・団体の皆様からの寄付金・募金
㈱セブン銀行　㈱セブン・カードサービス
㈱クオカード
電子マネー nanacoのポイント募金
セブン銀行ATMを利用した募金　他多数

一般財団法人 **セブン-イレブン記念財団**

加盟店オーナー代表　セブン-イレブン本部代表

環境市民活動支援事業
- 環境市民活動助成
- NPO基盤強化支援
- 環境NPOリーダー支援
- 地域の環境美化活動支援

自然環境保護・保全事業
- 森林の保護・保全活動
- 生物多様性保全活動
- 高尾の森自然学校
- 九重ふるさと自然学校

環境をテーマにした
社会貢献活動

災害復興支援事業
- 東日本大震災復興支援
- 自然災害復興活動
- 義援金募金活動

広報事業
- 環境イベント支援
- 広報誌『みどりの風』
- ホームページ

セブン-イレブン記念財団の「30年のあゆみ」

※団体名は現在の名称です。 ※セブンの森の一覧は、14ページをご覧ください。

1993年（平成5年）

11月 ▶セブン-イレブンみどりの基金設立

1994年（平成6年）

2月 ▶全国5,300店のセブン-イレブンに各店1個の募金箱を設置
3月 ▶(財)国立公園協会「自然公園快適環境づくり助成事業」開始
▶富士山地域美化推進事業・尾瀬地区への特別助成開始
▶(財)都市緑化基金「緑と花のスポットガーデン助成事業」開始
▶(公財)ボーイスカウト日本連盟「スカウトの日・カントリー大作戦」に助成開始


1996年度活動報告書

1995年（平成7年）

1月 ▶(財)日本グラウンドワーク協会を通じた一般公募助成制度開始
3月 ▶「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」協賛開始

1996年（平成8年）

8月 ▶「活動報告書」「活動報告ビデオ」制作開始
▶神奈川県鎌倉市「若宮大路グリーン・クリーン運動」へ活動助成開始
▶九州地区「ラブアース・クリーンアップ」へ活動助成開始

1997年（平成9年）

5月 ▶「札幌大通公園花壇」出展

1998年（平成10年）

8月 ▶「富士山地域の清掃活動」に(株)セブン-イレブン・ジャパン社員参加、以降毎年継続

1999年（平成11年）

3月 ▶募金箱を各店2個の設置に変更
7月 ▶「北海道森林マラソン（現：北海道森林スポーツフェスタ）」への特別協賛開始（第2回）


富士山山頂バイオトイレ
杉チップ投入

2000年（平成12年）

4月 ▶認定NPO法人富士山クラブを通じ、「富士山環境保全支援プラン」助成開始
7月 ▶ホームページ開設
▶「セブン-イレブンデー全国一斉清掃活動」に軍手提供
▶「びわ湖滋賀県下一斉清掃活動」に軍手提供
10月 ▶「日光杉並木オーナー制度」に加入し杉並木保護・保全活動開始
▶林野庁と「巨樹・巨木保護活動」を推進

2001年（平成13年）

4月 ▶「環境市民ボランティア活動助成制度（現：環境市民活動助成制度）」開始
8月 ▶認定NPO法人富士山クラブの富士山山頂バイオトイレ設置事業を支援

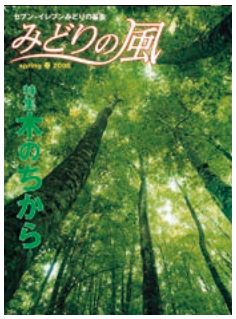
2002年（平成14年）


2002年2月
第1回海外研修オーストラリア

2月 ▶「環境ボランティアリーダー海外研修制度（現：環境NPOリーダー海外研修制度）」開始
8月 ▶「ボランティアスタッフ制度」運用開始
10月 ▶広島市内4カ所に「パートナー花壇」出展
▶(財)都市緑化基金より都市緑化功労者として感謝状を授与される
11月 ▶「九州森林マラソン（現：九州森林スポーツフェスタ）」特別協賛開始（第1回）
12月 ▶「霧多布湿原保全活動」として北海道の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、湿原150haの保護・保全活動開始

2003年（平成15年）

4月 ▶BSハイビジョン放送で環境市民ボランティア団体紹介番組を提供
▶(株)セブン-イレブン・ジャパンビル内にみどりの基金事務局開設
7月 ▶環境市民ボランティア団体7団体とパートナーシップ協定締結
12月 ▶「北海道学生環境ボランティア支援制度」開始



広報誌「みどりの風」創刊号

2004年（平成16年）

5月 ▶(公財)ボーイスカウト日本連盟より特別感謝章を授与される
▶「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」への支援開始

2005年（平成17年）

3月 ▶広報誌「みどりの風」創刊
4月 ▶会報「みどりの基金だより」創刊
5月 ▶「自然環境保護・保全活動にかかる調査研究助成」開始
6月 ▶「日独ファンドレイジング（資金調達）・シンポジウム」を名古屋市で開催
8月 ▶「トキこども大使」を新潟県佐渡島に派遣開始


トキこども大使


2006年9月17日第1回のメインデーには1,225名の市民が参加

2006年（平成18年）

5月 ▶(株)セブン・カードサービスのポイントチャリティ開始
9月 ▶「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」開始

2007年（平成19年）

4月 ▶「九重ふるさと自然学校」開校
▶認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストより感謝状を授与される
8月 ▶(公財)日光杉並木保護財団より感謝状を授与される
12月 ▶「平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞



2007年4月21日
九重ふるさと自然学校開校


2008年11月1日
第1回「三宅島緑化プロジェクト」

2008年（平成20年）

11月 ▶「三宅島緑化プロジェクト」開始
▶「海辺の自然再生・高校生サミット」協賛開始（第1回神奈川県）

2009年（平成21年）

5月 ▶「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」の活動に対し、「国民の森林づくり推進功労者」として林野庁長官より感謝状を授与される
8月 ▶「学校の森・子どもサミット」に協賛開始（第3回四国）



2010年2月17日「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定締結式

2010年（平成22年）

2月 ▶東京都と「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定を締結
3月 ▶一般財団法人セブン-イレブン記念財団設立
5月 ▶国連の生物多様性条約事務局の「グリーンウェイブ」に苗木提供開始

2011年（平成23年）

6月 ▶「東京湾再生アマモプロジェクト」開始
▶「東日本大震災復興プロジェクト」開始
11月 ▶「里地里山プロジェクト」開始
▶(株)セブン・カードサービスの「nanacoポイント募金」開始


2011年6月11日
第1回「東日本大震災復興プロジェクト」

2012年（平成24年）

2月 ▶「脱炭素チャレンジカップ（旧名称：低炭素杯）」共催開始
3月 ▶「東北に緑を！セブン-イレブンプロジェクト」開始
▶「森林保全プロジェクト」開始
▶森林の再生「千葉セブンの森」づくり開始

2013年（平成25年）

3月 ▶九重ふるさと自然学校と学校法人文理学園日本文理大学が「学生のボランティア活動およびインターンシップ推進に関する協定」を締結
5月 ▶東京都立日比谷公園で開催する「森と花の祭典－みどりの感謝祭」に出展開始（第13回）
▶「生物多様性アクション大賞」共催開始（第1回）
11月 ▶「東京湾再生官民連携フォーラム」に協力
▶20周年記念誌「わたしの里山物語」発行



20周年記念誌「わたしの里山物語」発行

2014年（平成26年）

3月 ▶九重ふるさと自然学校の「生きもの育む自然共生型田んぼづくり」が、国連生物多様性の10年日本委員会連携事業に認定
6月 ▶東京都と「民間主体との協働による緑地保全モデル事業に関する協定」を締結
7月 ▶「セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱を設置開始



2015年4月10日
高尾の森自然学校開校

2015年（平成27年）

4月 ▶高尾の森自然学校開校
▶「森のようちえん全国交交流フォーラム」特別協賛開始（第11回）
11月 ▶国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB－J）より感謝状を授与される

2016年（平成28年）

4月 ▶東日本大震災復興プロジェクトとして、「宮城セブンの森」づくり開始



2017年7月21日 海事関係功労者表彰港湾空湾功労（振興発展）に表彰

2017年（平成29年）

5月 ▶ホームページのスマートフォン対応開始
7月 ▶海事関係功労者表彰港湾空湾功労（振興発展）に表彰
10月 ▶(一財)みなと総合研究財団主催「東京湾海の環境再生賞」の「国土交通大臣賞」を授与される
▶森林整備・保全活動「長野セブンの森」づくり開始
11月 ▶森林整備・保全活動「福井セブンの森」づくり開始

2018年（平成30年）

5月 ▶(株)セブン・ペイメントサービスのセブン銀行ATM「現金受取サービス」募金開始
6月 ▶海の再生「阪南セブンの海の森」づくり開始
▶河畔林の再生「茨城セブンの森」づくり開始
9月 ▶湿原の保全「霧多布セブンの森」づくり開始
12月 ▶25周年記念誌「『江戸しぐさ』に学ぶ おもてなしのこころ」発行



2018年6月1日「阪南セブンの海の森」大阪府阪南市と調印

2019年（平成31年／令和元年）

4月 ▶狭小店舗用の募金箱設置
10月 ▶「環境市民活動助成」PDFフォームでの申請受付開始
11月 ▶琵琶湖の保全活動「滋賀セブンの森」づくり開始

2020年（令和2年）

3月 ▶新型コロナウイルス感染拡大に伴う、環境市民活動助成特別措置の実施
4月 ▶森林整備・保全活動「山梨セブンの森」づくり開始
6月 ▶セブンマイルプログラム「貯まったマイルを寄付」開始
9月 ▶「環境市民活動助成」ご案内ビデオ制作
▶「環境市民活動助成」助成金セミナーオンライン開催
10月 ▶松島湾復興支援活動「塩竈セブンの海の森」づくり開始（7月協定締結）
11月 ▶「グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会」協賛開始（第1回）
▶九重ふるさと自然学校が「青少年の健全育成に尽力」していることを認められ、大分県知事より感謝状、大分県青少年育成県民会議より表彰状を授与される



「『江戸しぐさ』に学ぶおもてなしのこころ」発行

2021年（令和3年）

2月 ▶森林整備・保全活動「三重セブンの森」づくり開始（協定更新）
3月 ▶環境省大臣官房総合政策課及び一般社団法人環境パートナーシップ会議の三者と「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定」を締結
▶海と森林の再生「館山セブンの海の森」づくり開始
▶(株)セブン・グローバルレミットが提供する海外送金サービス「Sendy」からの募金開始
5月 ▶NPO法人 海辺つくり研究会と「自然と人間が調和・共生する海辺つくり事業基本協定」を締結
6月 ▶草原の保全「大分セブンの森」づくり開始
7月 ▶セブン-イレブン記念財団のホームページリニューアルを実施
▶「明日にいいこと。つなげる、つづける。」“セブンの森、セブンの海の森”を日本経済新聞（7月7日）に掲載
▶「明日にいいこと。つなげる、つづける。」“セブンの森、セブンの海の森”のテレビCM放映
▶セブン-イレブン店舗にあるセブン銀行ATMからの募金開始
9月 ▶「環境市民活動助成」WEBシステムでの申請受付開始
10月 ▶海の再生「青森セブンの海の森」づくり開始
▶阪南セブンの海の森活動が、「阪南市制施行30周年記念事業」にて感謝状を授与される
12月 ▶セブン-イレブンのサスティナブルギフトからの寄付開始



2021年3月24日
「館山セブンの海の森」協定式記念写真



日本経済新聞（2021年7月7日）掲載



2021年10月9日
「青森セブンの海の森」協定式記念写真

2022年（令和4年）

7月～11月 ▶レジ袋収益金を活用した(公財)ボーイスカウト日本連盟との全国一斉清掃活動「プラごみバスターズ大作戦」実施（7/11～11/7）
11月 ▶河畔林の再生「埼玉セブンの森」づくり開始
▶(公財)ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典にてセブン-イレブン記念財団が特別表彰を受賞


2022年11月9日
「埼玉セブンの森」協定式記念写真


2022年11月26日
ボーイスカウト日本連盟
創立100周年記念式典にて

2023年（令和5年）

3月 ▶セブン-イレブン記念財団設立30周年ロゴ・メッセージ・スローガンを制定
▶設立30周年店頭募金お礼シールを制作し、全国の店頭募金箱に掲示
4月 ▶環境省自然環境局および地域の活動団体とともに『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を締結
5月 ▶設立30周年記念としての「活動報告ビデオ」「活動報告とご案内」「ホームページ」を制作
6月 ▶森林の保全「奈良セブンの森」づくり開始
▶広報誌「みどりの風」夏の特別子ども号「みつけた！ビックリ！発見の夏」を制作
8月 ▶一般社団法人ＲＱ災害教育センターと「災害時における 被災地支援に関する連携」について協定締結
9月 ▶助成制度合同セミナーを会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で開催
10月 ▶環境省が取組む「自然共生サイト」にセブン-イレブン記念財団『阪南セブンの海の森』が認定
11月 ▶セブン-イレブン記念財団設立30周年（20日）
▶セブン-イレブン記念財団ロゴの商標登録を実施
▶設立30周年SDGs記念バッジを加盟店に配布



設立30周年
ロゴ・スローガン



店頭募金お礼シール


設立30周年
SDGs記念バッジ

2024年（令和6年）

2月 ▶「森・里・川・海と人と人をつなぐ　脱炭素・生物多様性フォーラム」開催
▶「全国海の再生・ブルーインフラ賞」審査委員会特別賞受賞



西なぎさ ゴミ拾い風景
DEXTE-K(東京都)

環境市民活動支援事業

地域に根ざした環境市民活動を支援

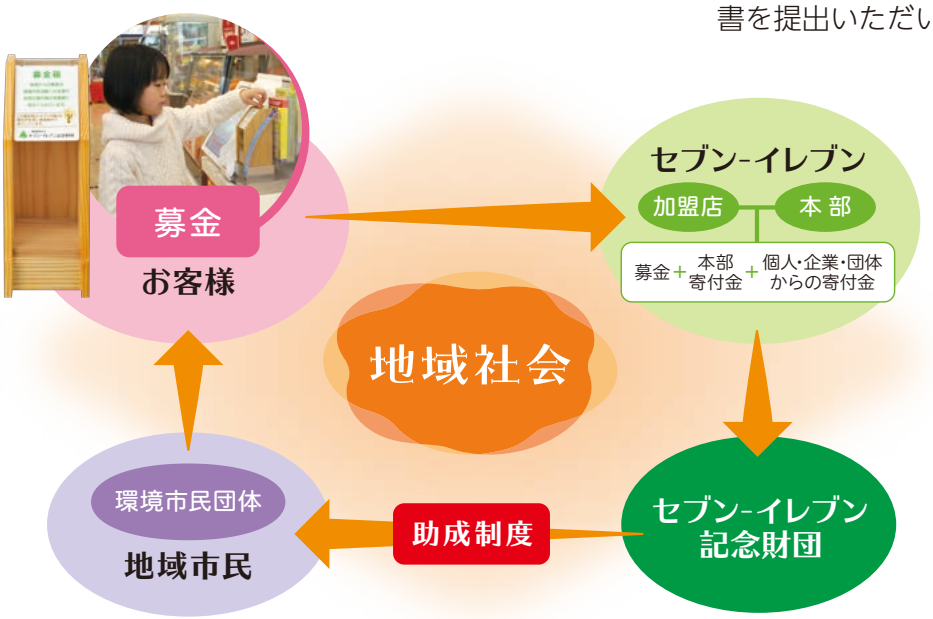
セブン-イレブン記念財団は、地域の環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動を様々な角度から支援しています。

環境市民活動助成

お客様が募金を通して地域の環境活動を支援する市民参加型の社会貢献活動です。

環境市民活動支援事業の大きな柱は、公募制の「環境市民活動助成」です。日本全国のセブン-イレブン店頭募金箱にお客様から寄せられた募金を、地域の環境市民団体に助成金という形でお届けし、活動を支援しています。

「環境市民活動助成」は、2001年に日本国内の団体および活動を助成対象として開始しました。助成先を全国から公募し、助成先団体選定の透明性と公正性を高めるために、それぞれの活動分野を審査する専門審査会と、その結果をもって広い視点から審査を行う最終審査会の２度の審査会を設け、厳正な審査を経て助成先団体を決定しています。助成先には、安心して活動できるように年度初めに助成金をお振り込みし、活動終了後に活動報告書と会計報告書を提出いただいています。





2024年度 環境市民活動助成パンフレット

助成の種類（2023年度）	助成の趣旨と特徴	助成の種類（2023年度）	助成の趣旨と特徴
設立30周年記念 未来へつなごう助成	地域の環境課題解決のために活動する大学生・大学院生の取り組みを１年間支援します。	活動助成	自然環境保護や生物多様性の保全など、市民が主体となって行う環境活動を1年間支援します。
NPO基盤強化助成	持続可能な活動を実現する自主事業の構築・確立をめざすNPO法人に対し、事業資金・専従職員の人件費・事務所家賃を原則3年間支援します。	地域美化助成	ごみのない、緑と花咲く街並みをつくる活動を１年間支援します。

助成制度セミナー

2023年度 助成制度セミナー「環境市民活動のこれからを考えよう!」を開催。



助成制度説明会

2023年９月13日（水）に、会場とオンライン参加のハイブリッド形式にて開催いたしました。

環境団体が抱える様々な課題に対し、整理するためのヒントをお伝えするための基調講演や６社による助成制度説明会、また会場参加者限定で個別相談会が実施されました。

環境NPOリーダー支援

環境市民活動を実践するリーダーを支援しています。

2002年から環境NPOで活動するリーダーの個人支援として、公募制の「環境NPOリーダー海外研修」を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年からは活動内容を変更しました。

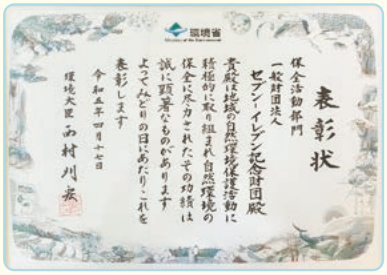
研修を通じてつながった全国で活動しているリーダーが、組織運営や活動技術、情報や経験を共有することで、環境活動のための地域間・組織間・世代間のネットワーク創出を図っています。

また、研修生の有志が結成した一般社団法人日本環境NPOネットワークの運営を支援すると共に、同団体と「日本環境NPOネットワーク会議」を共催し、情報の交換や共有を図り、環境NPOリーダー間のネットワークを広げています。

トピックス TOPICS

令和5年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞

2023年４月17日（月）、自然環境の保全に関する顕著な功績があった者（又は団体）を表彰し、これを讃えるとともに自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的として、平成11年度から環境省が行っている『「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰』にセブン-イレブン記念財団が受賞しました。



表彰状

◆部　門　保全活動部門

◆功績概要

平成５年より、全国の環境保全活動支援を行い、活動するための人材育成として、平成14年から公募制の「環境NPOリーダー海外研修」を実施。海外の環境NPOで組織運営や活動技術などを学び、現場で活かすことを目的としている。また、活動団体や行政と連携し長期的な計画を立て、地域の自然環境やニーズに合わせて、セブン-イレブンの関係者も参加した自然づくり（森・河畔林・海・草原等）にも活動の場を広げている等、地域の自然環境保護活動にも尽力。


セブン-イレブン記念財団
山本理事長

つなげよう、支えよう
森里川海

セブン-イレブン記念財団は、
このプロジェクトに賛同しています

自然環境保護・保全事業

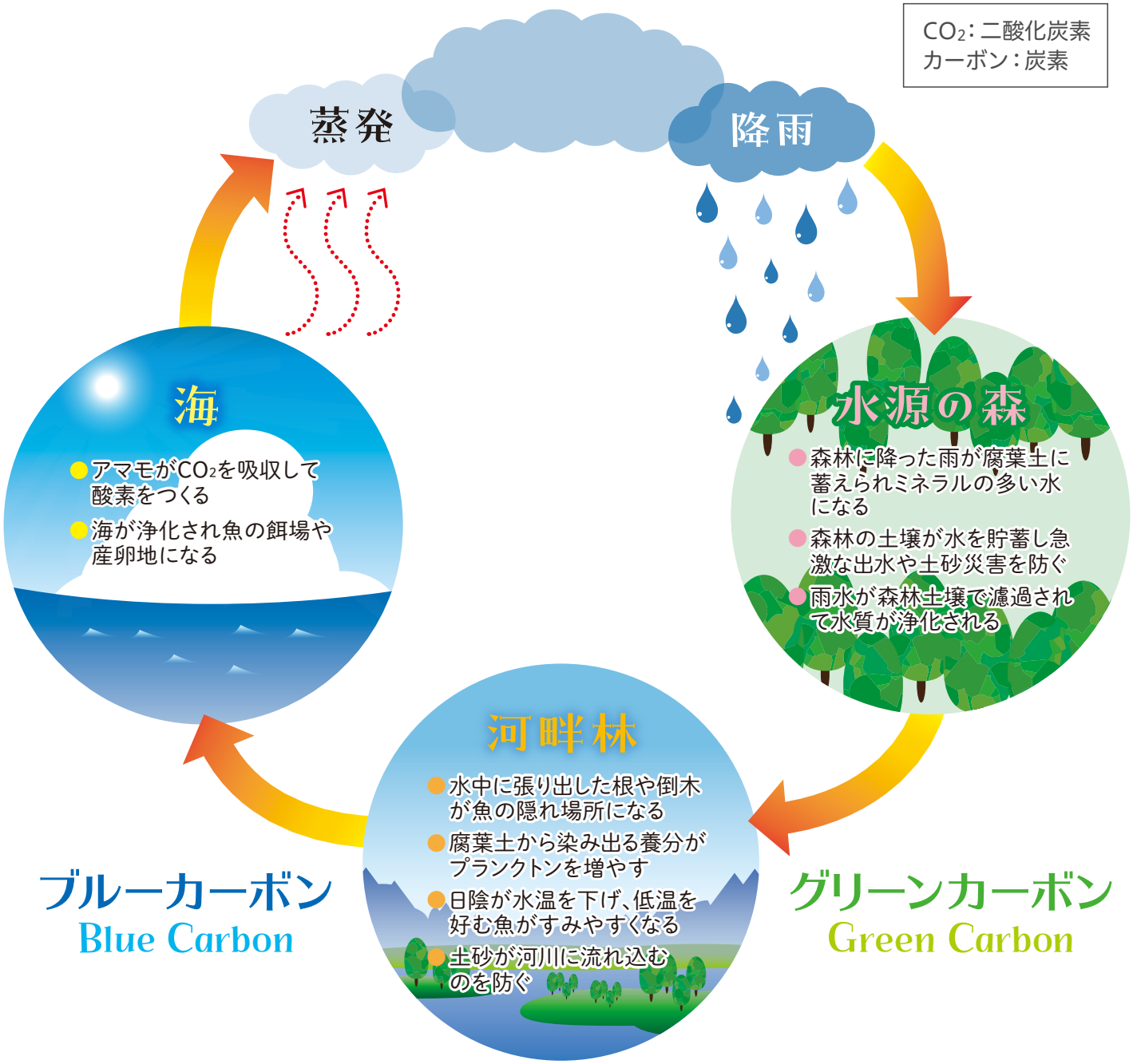
日本の美しい自然を次世代に引き継ぐために

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。

森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO_2削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。

CO_2：二酸化炭素
カーボン：炭素



森の育木活動で健全な森づくり

日本は木を植えて木を育て、木を切って使い、また植えるという木を循環させる文化を持っています。木が育つには何十年もかかり、その間の植樹や下刈り、間伐などの育木を人が計画的に行って森を守ってきました。

セブン-イレブン記念財団の「森づくり」の基本的な考え方は、植樹から下刈り・間伐までの森の育木活動を行い、健全な森をつくることです。

2006年に「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」をスタートさせて以来、全国で森林・海・湖・湿原・草原・河畔林・竹林とさまざまな「セブンの森」づくりに取り組んでいます。



「埼玉セブンの森」幼木の移植



「三重セブンの森」山道づくり

「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱

2012年より震災復興支援として、豊かな森をつくるために宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木にてNPO法人しんりんと協定を締結し、「宮城セブンの森」づくりを行っています。



「宮城セブンの森」ツル植物の除去

2014年から間伐材を利用した木製募金箱を店頭に設置し、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につなげています。



募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てています



アマモを増やして海を再生

「海の森づくり」として、水質浄化やCO_2を減らすアマモを増やして豊かな海に再生する活動に取り組んでいます。「ブルーカーボン」は地球上の生物が固定化する全炭素量の55%を占めており、温室効果ガス削減の切り札ともいわれています。

アマモを増やして豊かな海に再生する活動は、地域の方々と共にセブン-イレブン加盟店や本部社員からボランティアを募り実施しています。



アマモの種

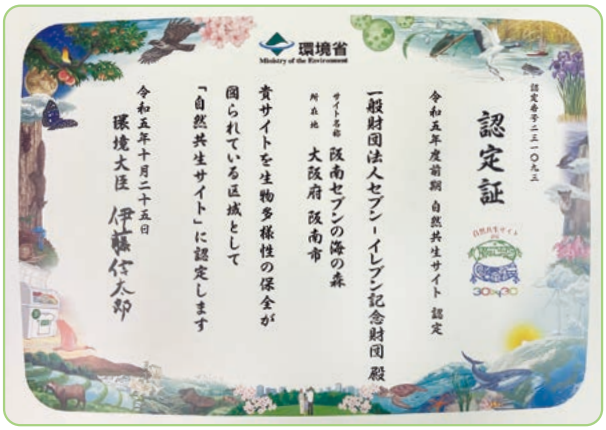
現在、アマモ場の保全活動の先駆けとなった「東京湾UMIプロジェクト」をはじめ、大阪湾で阪南セブンの海の森、松島湾で塩竈セブンの海の森、館山湾で館山セブンの海の森、陸奥湾で青森セブンの海の森の５カ所で活動しています。



「青森セブンの海の森」浅場海中清掃

「阪南セブンの海の森」環境省が取り組む自然共生サイトに認定

『阪南セブンの海の森』は、アマモ場の保護保全活動と沿岸清掃活動を実施しており、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」であるとして、この度セブン-イレブン記念財団は、2023年10月25日（水）に開催された「自然共生サイト認定証授与式」において、環境省より『阪南セブンの海の森』を「自然共生サイト」として認定いただきました。



表彰状


「阪南セブンの海の森」づくり集合写真

30by30ロゴマーク

「奈良セブンの森」事業にかかわる連携に関する協定の締結

2023年６月29日（木）、（一社）大和森林管理協会、上牧町、王寺町、近畿大学農学部、セブン-イレブン記念財団の五者で、「奈良セブンの森」整備・保全に関する協定を締結しました。



「奈良セブンの森」協定締結式

【協定の目的】
森林において整備・保全活動を実施することにより、森林環境の保全に貢献するとともに地域社会の交流を実現することにより地域の発展に寄与する

【活動場所】
奈良県北葛城郡王寺町畠田
奈良県北葛城郡上牧町下牧　他　3.93ha

【協定期間】
2023年７月１日～ 2032年３月31日

日本の美しい自然遺産を次世代へ

霧多布湿原保全活動 ～霧多布セブンの森～

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。

2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。



霧多布湿原は、ラムサール条約登録湿地

取得面積　488.7ha（2024年2月末日現在）

琵琶湖保全活動 ～滋賀セブンの森～

琵琶湖を取り巻く環境を健全な姿で引き継ぐため、2019年に滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の会、セブン-イレブン記念財団の四者で連携協定を締結し、「滋賀セブンの森」活動として湖岸清掃や小さな自然再生を実施しています。

年２回の活動には、行政、企業、学生、市民と産官学民が一体となり、湖岸に漂着したゴミの収集、分別作業を力を合わせて行っています。



「滋賀セブンの森」ゴミの分別活動



「滋賀セブンの森」湖岸清掃活動

富士山保全活動

セブン-イレブン記念財団は1994年より富士山の環境美化保全活動への取り組みを開始しました。1998年より、セブン-イレブン加盟店と（株）セブン-イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン-イレブン記念財団富士山保全活動」を主催し、2022年度から静岡県及び認定NPO富士山クラブと協働で「６R県民運動」として静岡県内の海岸清掃活動を行っています。



富士山海岸清掃



集合写真

「セブンの森」づくり一覧（全30カ所、うち終了11カ所）

2024年2月末日現在

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にする、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを目指しています。2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

都道府県	名　称	場　所	開始年	面　積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～2023年更新	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年～	488.7ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年～	—	海
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～2018年終了	2.0ha	森林
埼玉県	埼玉セブンの森	太郎右衛門自然再生地	2022年～	—	河畔林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年～	—	海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 Ⅰ	埴科郡坂城町	2012年～2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 Ⅱ	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～2019年終了 2020年更新	1.2ha→8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
奈良県	奈良セブンの森	北葛城郡王寺町、北葛城郡上牧町	2023年7月～	3.93ha	森林
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～2021年更新	3.6ha→15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲渕	2015年～2020年終了	1.8ha	森林
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～2020年終了	3.0ha	森林
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年～	600ha	草原
			面積合計	1780.2ha	

「セブンの森」づくり累計活動結果

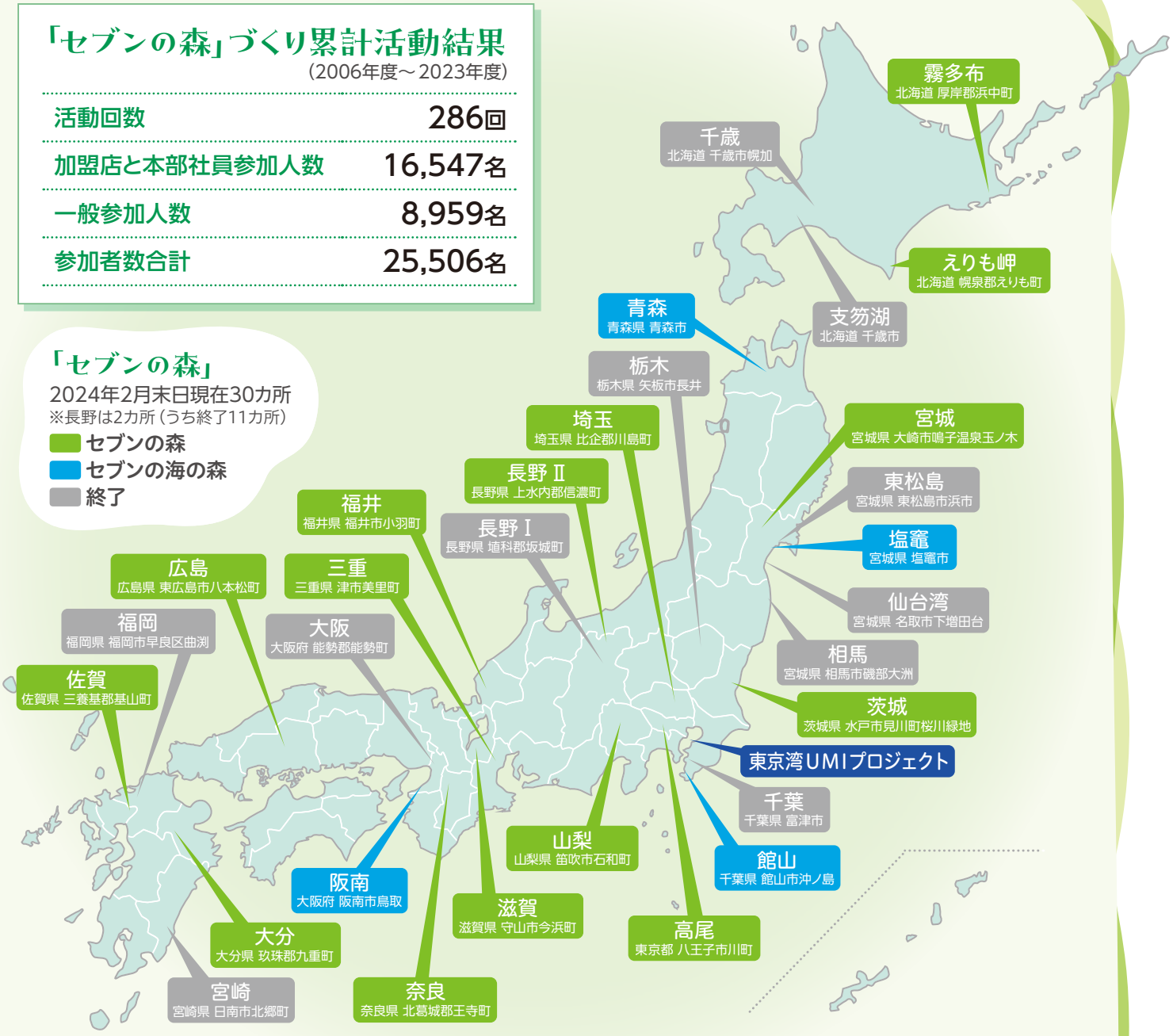
（2006年度～2023年度）

活動回数	286回
加盟店と本部社員参加人数	16,547名
一般参加人数	8,959名
参加者数合計	25,506名

「セブンの森」

2024年2月末日現在30カ所
※長野は2カ所（うち終了11カ所）

- セブンの森
- セブンの海の森
- 終了



TOPICS

「森・里・川・海と人と人をつなぐ 脱炭素・生物多様性フォーラム」開催

2024年２月15日（木）、セブン-イレブン記念財団は、設立30周年事業を記念して「森・里・川・海と人と人をつなぐ脱炭素・生物多様性フォーラム」を開催しました。

今回のフォーラムは、森・里・川・海にて環境活動を続けてこられた皆様を繋ぐことを目的として、東京の会場とリモートのハイブリット形式にて開催、渋沢寿一氏による「人は自然の一部である」をテーマにした基調講演や“セブンの森・セブンの海の森づくり”で活動する４つの団体代表者から、活動内容とその魅力などについて発表いただきました。

その後は、会場とリモートで集まった参加者168名の皆様と、自然と人との結びつきについて活発な質問や意見交換が行われました。

自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で自然学校を運営しています。



スタッフ集合写真



九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、2007年に開校し、ラムサール条約に登録された「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」をはじめとする草原環境の保全や草原性チョウの保全活動、さらにお米も生きものも育む自然共生型の田んぼづくりや地域に根付く伝統野菜の普及・啓発を通して、人と自然が共生する里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。

「大分セブンの森」では、飯田高原一帯の環境を守ろうと、2021年より草原および森林において活動を行っています。2023年度は飯田高原で問題になっている特定外来生物オオハンゴンソウの駆除、さらに草原維持のための野焼きを安全に行うために欠かせない防火帯の整備を延べ128名の方と共に行いました。



体験プログラム「くじゅうの生きもの観察会」



大分セブンの森「防火帯づくり」
史上最多94名の皆さんが集結

ふるさとを愛する心を育む

九重町の教育機関や地域団体と連携し、地域の子どもたちに向けた環境教育を行っています。ラムサール条約登録湿地であるくじゅう坊ガツル・タデ原湿原を深く学び、他の湿地との交流を行う「チームタデ原」（くじゅう地区管理運営協議会）、自然に育まれた暮らしの中の文化を学ぶ「飯田高原お宝探検隊」（飯田地区青少年健全育成協議会）、筑後川の源流域（九重町）から有明海まで自然と暮らしを体験する「ふるさと探検クラブ」（九重町教育委員会との共催）など。これらの活動を通し、子どもたちのふるさとを愛する心の育成に取り組んでいます。



チームタデ原「キッズガイド」



お宝探検隊「伝統行事もぐらうち」

体験プログラムを通して環境を学ぼう！


ジュニアボランティア

週末には、森の中を散策しながらの生きもの観察や、自然素材を使ったクラフトワークショップ、循環型農業を体験できる畑のボランティア活動を実施しています。


クリスマスリースづくり

また「森の音楽祭」といった生きもの以外でも環境教育にアプローチをする体験プログラムや、森林浴といったリラクゼーションを目的とした大人向けの体験プログラムにも取り組み、多くの方に様々な環境体験学習を提供しています。

高尾の森自然学校


スタッフ集合写真

「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点施設を構えて取り組む協働事業です。2015年４月に開校し、東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールドに、貴重な森林を守り、育むことにより脱炭素社会の実現に寄与します。また東京都レッドリストに掲載されている貴重な動植物の保護・保全活動を通して、生物多様性の重要性を体験し学ぶとともに、地域の自然、歴史、文化などを次世代に継承していく人材を育てます。

「高尾セブンの森」は、高尾の森自然学校が開校する前の2014年８月から地元の方と共に、東京都八王子市川町の豊かな自然が残る森を保全する活動を実施してきました。また月２回実施している森林整備活動「森のお手入れボランティア」は2023年１月末までに、計148回実施し、延べ1,459名の方と共に森林整備を行い、森を整備するだけでなく、森づくりの必要性についての講習なども行っています。




体験プログラム「フォレストウォーク」


高尾セブンの森 伐倒作業

「国立公園の環境保全活動に関する協力協定書」を締結

2023年４月７日（金）、一般財団法人セブン-イレブン記念財団は、環境省自然環境局および地域の活動団体とともに『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を締結いたしました。



（左）環境省自然環境局 奥田直久局長、
（右）一般財団法人セブン-イレブン記念財団
山本憲司理事長 ※協定締結時点

【協定の経緯】

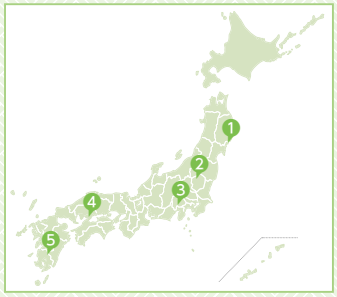
セブン-イレブン記念財団は2023年11月に設立から30周年を迎えるとともに、国立公園は最初の指定から2024年で90周年を迎えます。これを機に、両者は国立公園における環境保全活動の推進を図り、自然の風景地の保護及び生物多様性の確保に向けた取り組みの促進、並びに保護と利用の好循環による地域社会の持続的な発展に寄与することを目的に、相互に協力してこれらの取り組みを促進し更なる取り組みの深化や発信等を行うことに合意し、協力協定を締結いたしました。

【協定の概要】

協力内容
- ◆協働で実施する環境保全活動に関する事項
- ◆環境市民活動助成に関する事項
- ◆環境保全活動への参加の呼びかけに関する事項
- ◆その他本協定の目的に資する事項



日光国立公園
特定外来生物オオハンゴンソウの
駆除活動 集合写真



【活動内容】

※今後5つの国立公園から環境保全活動を開始、順次拡大していく予定です。

1. **三陸復興国立公園**（沿線の美化清掃やトレイル整備を実施）
2. **日光国立公園**（景観の保全のため、外来種対策や里山管理を実施）
3. **富士箱根伊豆国立公園**（植物の保全のため、防鹿柵の設置・点検を実施）
4. **瀬戸内海国立公園**（登山道の維持管理等を実施）
5. **霧島錦江湾国立公園**（干潟の保全・再生を協働で実施）

TOPICS

「第1回 全国海の再生・ブルーインフラ賞」にて審査委員会特別賞を受賞！

セブン-イレブン記念財団は、一般財団法人みなと総合研究財団が主催する「第１回全国海の再生・ブルーインフラ賞」において、「審査委員会特別賞」を受賞しました。

「全国海の再生・ブルーインフラ賞」は、我が国の海辺空間の環境再生のほか、ブルーインフラ（藻場、干潟等及び生物共生型港湾構造物）の保全・再生・創出に取り組み、海辺の環境改善、地域社会の活性化、カーボンニュートラル等に貢献する取組を表彰するものです。



◆取 組 名
「日本の自然を次世代に引き継ぐために」

◆取組内容
「セブンの森・セブンの海の森づくり」において、地域住民やNPO、行政と連携し、地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを継続し、脱炭素社会の実現と生物多様性の保全に貢献でできるように取り組んでいる。（海の森づくりエリア：青森市、塩竈市、館山市、東京湾、阪南市）



「塩竈セブンの海の森」
集合写真

災害復興支援事業

被災地の自然を復旧・復元するために

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。

東日本大震災復興支援

塩竈セブンの海の森

宮城県の松島湾は多数の島々が点在しており、製塩などを通して海の恵みを受けて発展してきましたが2011年の東日本大震災により、松島湾の環境は激変し、地域の人々を海から遠ざけました。震災後に海を怖がるようになってしまった子どもたちに、もう一度海の楽しさを体験してもらう機会にするため、宮城県塩竈市と松島湾アマモ場再生会議とセブン-イレブン記念財団の三者で2020年７月に協定を締結しました。



アマモの種子の選別



アマモの花枝採取

塩竈市北浜緑地護岸沿岸のアマモ場の再生や保全再生活動を実施し、地域の活性化につなげています。

災害時における被災地支援に関する連携協定

一般財団法人セブン-イレブン記念財団と一般社団法人ＲＱ災害教育センターは、災害時における被災地支援に関する連携について、協定を締結しました。

目　　的：地震、風水害その他災害が発生した場合において、協力し、迅速かつ円滑に被災地での支援活動を実施することを目的とする。
協定期間：2023年８月１日～2026年７月31日



右から（一社）RQ災害教育センター
相澤理事、佐々木代表理事
（一財）セブン-イレブン記念財団
勝俣評議員、東京地区 横田理事

義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭に設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。お客様からのご厚意は、心を込めて被災地へお届けしています。

●令和5年 トルコ南東部を震源とする地震被害への募金活動
1億5381万7347円　募金期間：2023年2月8日～3月12日
セブン-イレブン店舗数：21,402店

●令和5年 米国ハワイ州マウイ島山火事火災に対する募金活動
4514万206円　募金期間：2023年8月15日～8月28日
セブン-イレブン店舗数：21,442店

●令和6年 能登半島地震被害への募金活動
3億4029万9578円　募金期間：2024年1月2日～2月18日
セブン-イレブン店舗数：21,488店



脱炭素チャレンジカップ
2024集合写真

自然のすばらしさを体験し、環境を考える機会を提供

私たちを取り巻く自然環境の大切さに気づき、その問題について関心を持ち、身近なところから取り組みを始めていただくための広報活動を行っています。

環境イベント支援

森林スポーツフェスタ

森林の中で行われるエコスポーツを通して、森の恵みやすばらしさを体感する「北海道森林スポーツフェスタ」に1999年の第２回より特別協賛しています。



第23回 北海道森林スポーツフェスタ
2023 in 支笏湖

脱炭素チャレンジカップ（旧：低炭素杯）

日本全国、多様な主体が取り組む脱炭素化に関する活動を表彰する制度を通じ、全国の優れた取り組みのノウハウや情報を共有し、さらなる活動への連携や意欲を創出するしくみと場である「脱炭素チャレンジカップ」を（一社）地球温暖化防止全国ネットと2012年から共催しています。



脱炭素チャレンジカップ2024
セブン-イレブン記念財団 最優秀地域活性化賞受賞
山形大学農学部バイオマス資源学研究室
「お米から肉！～脱脂米糠からの代替肉の製造～」

森のようちえん全国交流フォーラム

森の中を学びの場として、子どもの主体性を重んじた保育を行う森のようちえん活動の関係者が集い、情報交換をするフォーラムに2015年の第11回より特別協賛しています。



第18回 森のようちえん全国交流フォーラム in 千葉
ワークショップ「森と海のビーチコーミング」

全国アマモサミットと海辺の自然再生・高校生サミット



第15回 全国アマモサミット2023 in ふくおか

「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指している全国的な大会です。

2008年の横浜大会以来、全国各地の沿岸域が抱える環境問題をテーマに、毎年地域の事例発表や意見交換の場として、全国各地で開催されています。

海の環境改善などをテーマにした「全国アマモサミット」と、その中で、全国の高校生たちがアマモを中心とした海に関する研究発表をする「海辺の自然再生・高校生サミット」の開催を第１回から支援しています。

札幌大通公園花壇

1875年（明治8年）に開拓使の手により西洋の花々が植えられたことがはじまり、といわれている「札幌大通公園花壇」に、1997年度～2023年度まで「セブン‐イレブン記念財団花壇」を出展しました。



地域の環境美化活動支援

「スカウトの日」活動を支援しています

次の世代を担う子どもたちが、さまざまな体験を通して環境問題に気付き自らが考えて行動できるよう、環境意識を育てる青少年の環境教育活動を支援しています。

（公財）ボーイスカウト日本連盟が毎年９月の敬老の日（第三月曜日）に実施している全国で一斉に行われる社会貢献活動「スカウトの日」を1994年より継続して全面的に支援しています。





「スカウトの日」の累計結果　（1994年～2023年）

参加団体	33,148団
参加人数	1,334,725名
回収した空き缶	7,463,412本
回収したペットボトル	657,862本

広報誌『みどりの風』



「人と自然」「自然環境と地域社会」をテーマにした広報誌『みどりの風』を年4回発行しています。







2023年夏号は、“特別子ども号”として小学校高学年から中学生を対象とした「みつけた！ビックリ！発見の夏」を発行し、若い世代にも環境やボランティアに興味を持っていただけるよう全国の小中学校に配布しました。

ホームページ

セブン‐イレブン記念財団の情報を随時掲載しています。

https://www.7midori.org

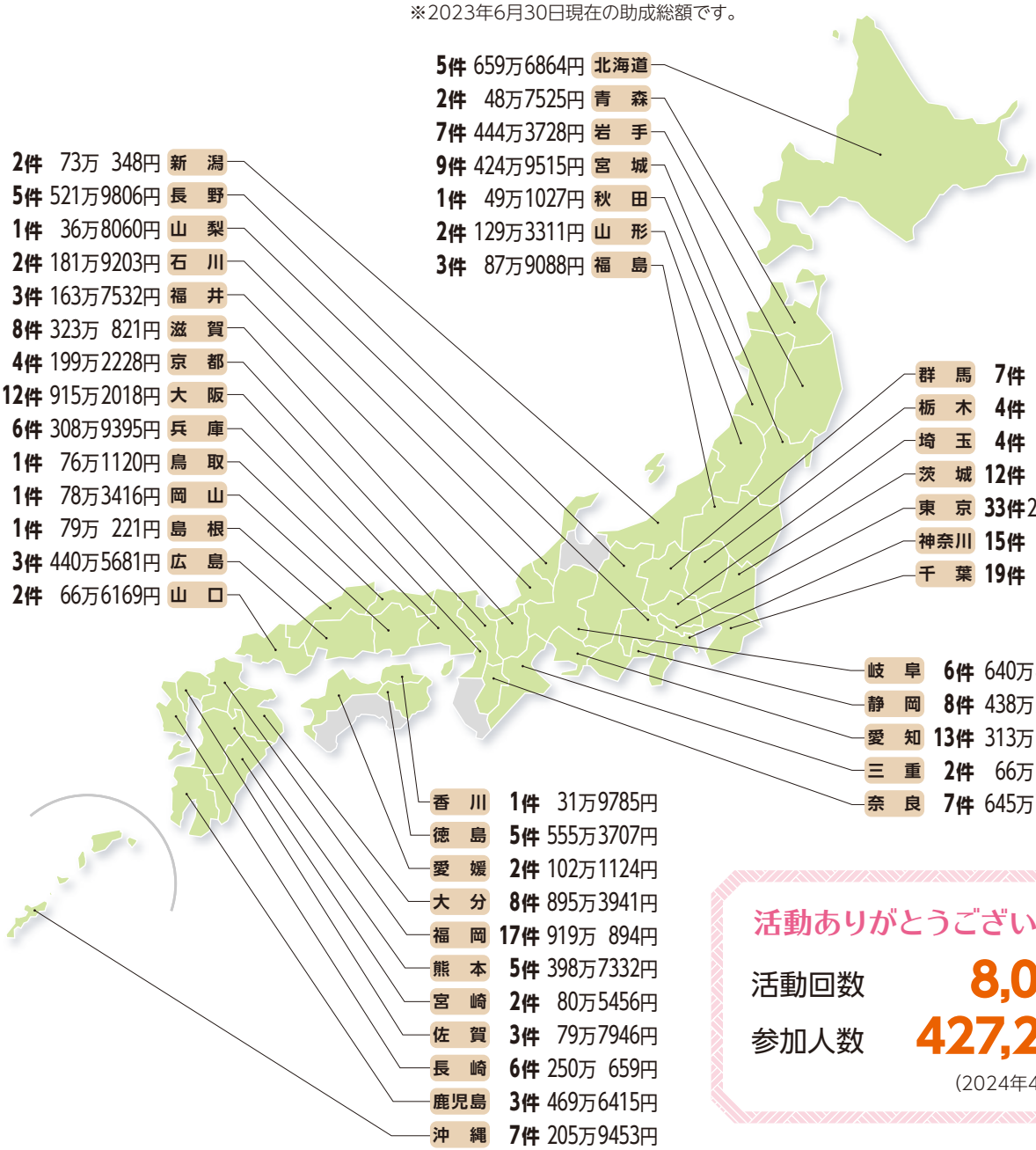


2023年度「環境市民活動助成」都道府県別助成総数と助成総額

※2021年度、2022年度、2023年度の継続助成を含みます。

助成総数 268件　助成総額 1億6186万4664円

※2023年6月30日現在の助成総額です。



活動ありがとうございました！

活動回数 **8,086回**

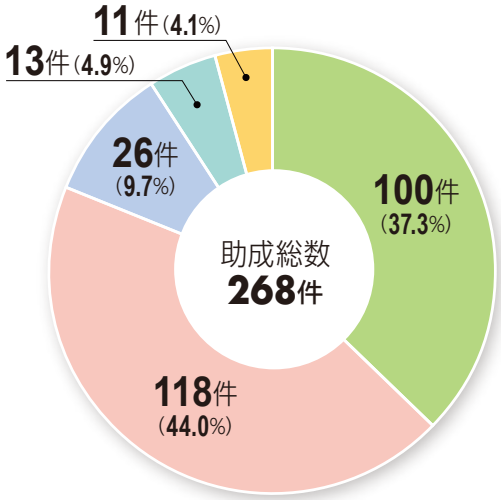
参加人数 **427,288人**

（2024年4月12日現在）

2023年度「環境市民活動助成」（複数年継続を含む）

助成の種類	応募		単年度の助成決定		複数年継続を含む助成決定	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
設立25周年記念 2019年度限定「山の森・海の森づくり」助成（5年目）	—	—	—	—	19件	6,579,216円
NPO基盤強化助成	25件	86,117,361円	3件	11,386,400円	13件	50,821,567円
活動助成	207件	138,074,858円	118件	70,126,067円	118件	70,126,067円
地域美化助成	136件	40,817,834円	118件	34,337,814円	118件	34,337,814円
合　計	368件	265,010,053円	239件	115,850,281円	268件	161,864,664円

2023年度「環境市民活動助成」活動分野別助成総数と助成総額



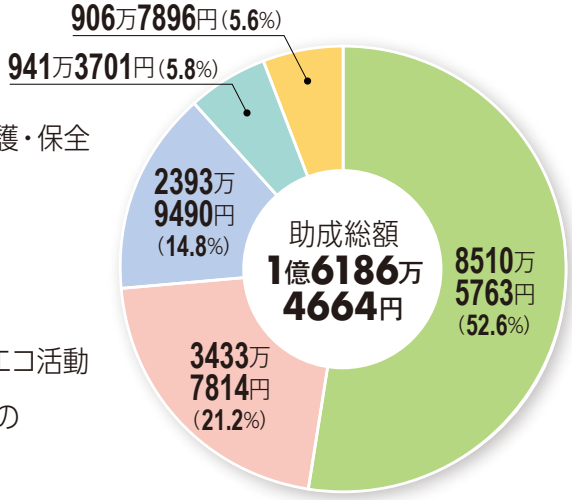
自然 自然環境の保護・保全

美化 地域美化活動

総合 総合環境学習

エコ 暮らしの中のエコ活動

野生 野生動植物種の保護・保全



これまでの「環境市民活動助成」結果(2001年度～2023年度)

助成総数 4,903件　　助成総額 28億7876万6848円

※助成決定時のものです。 ※現物支給の助成も含みます。 ※助成総数と助成総額は、複数年継続して助成する団体を含みます。

年　度	単年度の助成		年度の助成（複数年継続を含む）	
	件　数	金　額	助成総数	助成総額
2023年度	239件	115,850,281円	268件	161,864,664円
2022年度	258件	121,251,747円	285件	155,361,354円
2021年度	246件	121,153,791円	272件	138,350,724円
2020年度	242件	88,656,491円	269件	111,063,824円
2019年度	285件	119,253,140円	289件	133,402,934円
2018年度	264件	127,827,840円	271件	153,957,167円
2017年度	293件	133,815,020円	302件	167,417,785円
2016年度	294件	152,944,496円	304件	182,454,549円
2015年度	254件	142,276,318円	264件	169,311,877円
2014年度	253件	149,515,421円	268件	175,668,971円
2013年度	245件	129,028,445円	260件	155,948,445円
2012年度	131件	101,421,086円	139件	126,206,886円
2011年度	232件	145,726,773円	240件	158,980,713円
2010年度	210件	130,634,996円	224件	143,010,489円
2009年度	237件	121,235,814円	251件	134,927,614円
2008年度	180件	103,748,981円	191件	119,240,461円
2007年度	151件	90,045,085円	161件	103,382,710円
2006年度	101件	73,727,319円	112件	83,690,039円
2005年度	82件	57,400,089円	94件	72,330,059円
2004年度	113件	53,571,573円	119件	63,521,573円
2003年度	136件	71,395,401円	136件	71,395,401円
2002年度	96件	49,643,022円	96件	49,643,022円
2001年度	88件	47,635,587円	88件	47,635,587円
合　計	4,630件	2,447,758,716円	4,903件	2,878,766,848円

2023年度（令和5年度）都道府県別助成先団体・活動内容一覧

※採択後の辞退含む

北海道

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
北海道	標茶町花いっぱいコスモス推進会議	標茶駅前花壇と標茶町開発センター花壇への植花・管理	地域美化
北海道	利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会	花いっぱい運動（町内の植樹帯やプランターへの花の植栽）	地域美化
北海道	しかべ健康茶の会	山野草保護増殖の為の育苗施設の設置と移植、苗と野草茶の頒布	自然
北海道	厚岸町民の森造成実行委員会	町民の手によって広葉樹主体の植樹を行う。	自然
北海道	NPO法人 いぶり自然学校	森のようちえんと、生きづらさを感じている若者による里山畜養	自然
北海道	認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原を次世代に引き継ぐためのナショナルトラスト運動	自然

東北

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
青　森	NPO法人 白神山地を守る会	白神山地における広葉樹の3年目の苗床育成事業	自然
青　森	NPO法人 青森県環境パートナーシップセンター	第7回むつ湾の絵コンクール開催とむつ湾を守る学びと体験活動	自然
青　森	NPO法人 あおもりみなとクラブ	藻場再生と自然環境保全、SDGs理解度向上及び地域愛着醸成	自然
岩　手	和村ソフトボールクラブ	大船渡斎苑入口の花壇を年間通して整備している	地域美化
岩　手	ひころいち町づくり推進委員会	日頃市町内の「花いっぱい運動」における環境美化に取り組む	地域美化
岩　手	携帯トイレサポート早池峰	早池峰山での、携帯トイレ無人販売箱の設置管理及び普及活動	自然
岩　手	NPO法人 三陸ボランティアダイバーズ	ボランティアダイバーによる藻場再生活動	自然
岩　手	大槌町藻場再生協議会	大槌町が属する海域における藻場再生活動	自然
岩　手	岩手山麓自然学校	山から里へ希少蝶の棲む雑木林の回廊づくりと高原牧野の環境保全	野生
岩　手	橋野町振興協議会	分水嶺をなす和山を自然、環境、エネルギーを考える場にする活動	自然
宮　城	ごみゼロ岩沼	市内5ケ所を6ケ月に一回ずつ清掃活動する（年10回活動する）	地域美化
宮　城	小泉ユニバーサルビーチユニット	自然界を守り&花咲く綺麗な地域づくり活動	地域美化
宮　城	坂元グリーンサポートクラブ	震災復興新市街地の公共緑地の緑化・環境整備活動	地域美化
宮　城	錦ケ丘花と緑の会	錦ケ丘の主要な花壇（3箇所）の花植えと管理	地域美化
宮　城	宮城野親子で料理プロジェクト	震災復興農地を利用した親子で学べる食育・農育・環境学習	総合
宮　城	蕃山21の会	蕃山およびこれに連なる山々の豊かで優れた自然環境の保全活動	自然
宮　城	NPO法人 スパっと鳴子温泉自然エネルギー	大崎市の特徴ある再生可能エネルギー利活用学習プログラムの提供	エコ
宮　城	化女沼2000本桜の会	桜の植樹・整枝、植栽地の下草刈り・支障木伐採、周辺の美化活動	自然
宮　城	NPO法人 スマイルシード	自然は大先生!「学び・感じる・楽しむ」豊農な景観再生整備活動	総合
宮　城	NPO法人 しんりん	「森と人間が調和・共生する森づくり」事業と、持続可能な新しい林業の構築	自然
秋　田	庭じかん	ゴミステーションから明るい景観を地域一体型でつくる交流活動	地域美化
山　形	マイ夢の花の里づくりクラブ	マイ夢の里に植花と緑化により環境の美化と心やすらぐ地域づくり	地域美化
山　形	庄内自然博物園構想推進協議会	多様なステークホルダーによる湿地資源の活用と循環の可能性	自然
福　島	下柴行政区	フラワーロードの追加播種とバイオ炭の施用	地域美化
福　島	日立木6号花壇ボランティア	日立木地区にある6号国道の花壇（8区画160m）の整備	地域美化
福　島	小名浜まちづくり市民会議	小名浜本町通りと富ケ浦公園美化整備	地域美化

関東

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
茨　城	源氏川の彼岸花を保存する会	源氏川両岸に咲く彼岸花を育成・保護する活動	地域美化
茨　城	下妻市花のまち推進ボランティアクラブ	市内県道沿い緑地帯における植栽管理活動（花の植替え作業）	地域美化

茨　城	額田城跡保存会	額田城跡の保護・保存のための奉仕作業、文化財行政への協力	地域美化
茨　城	久慈川水防竹林を守る会	久慈川沿いの竹林整備	地域美化
茨　城	千波湖周辺の公園と自然を愛する市民の会	花壇の植栽管理、その周辺の清掃活動・講演会の開催	地域美化
茨　城	小貝川・花とふれあいの輪	小貝川堤の荒地を花の公園に変える環境美化の実践と啓発活動	地域美化
茨　城	竜ヶ井城山の会	竜ヶ井城跡地・百貫石登山道整備、関連施設の設置、山桜の植林	自然
茨　城	島崎城跡を守る会	島崎城跡の環境保全活動を通じて森林の健全な保全育成を図る	自然
茨　城	NPO法人 茨城県南生活者ネット	里山の保全維持と自然環境体験学習の場の運営	総合
茨　城	利員城保存会	利員城を整備保存し、歴史的文化遺産の継承につなげる	自然
茨　城	NPO法人 こが里山を守る会	倒木・立ち枯れ木集積・伐採活動及び市民参加の里山観察会	自然
茨　城	古徳沼の自然を守る会	古徳沼の自然保全と里山整備活動	自然
栃　木	米山南町会 花づくり倶楽部	町内にある公園の花壇に花を植え一年中花のある公園を目指します	地域美化
栃　木	金丸雷電神社周辺里山保存会	里山維持管理保護として斜面整備、樹木伐採、植林、下草刈り等	地域美化
栃　木	NPO法人 足尾に緑を育てる会	足尾銅山の煙害等で荒廃裸地化した足尾の山の緑化活動	自然
栃　木	NPO法人 うつのみや環境行動フォーラム 再生可能エネルギー部会	実験を重視した環境出前授業「地球温暖化と再生可能エネルギー」	総合
群　馬	八寸の会	絶滅してしまったアマドコロを殖蓮中学校の生徒と共に植栽する	地域美化
群　馬	まちづくりを考える研究グループ	プランターの花の植え替えとボートでの川下り体験	地域美化
群　馬	NPO法人 思いをつなぐ会	みんなの町の環境美化活動	地域美化
群　馬	NPO法人 ホワイトベル	世界かんがい施設遺産をみんなで大切に守りましょう	地域美化
群　馬	城山の緑と桜を守る会	団地に植樹した桜を守る為の下草刈と花壇整備のボランティアの会	自然
群　馬	殖蓮地区自然環境を守る会	群馬県レッドデータブック掲載の絶滅危惧種の保護、外来種駆除	野生
群　馬	NPO法人 ふるさと再生ネットワーク	地域資源を活用したグリーン・ツーリズムによる地域の活性化	自然
埼　玉	福岡中央公園を愛し育てる会	四季を感じる憩いと品格の有る都市公園を目指す、年間事業活動	地域美化
埼　玉	東狭山ヶ丘美化協議会	西武池袋線狭山ヶ丘駅東口緑化地帯の花植え及び除草・清掃活動	地域美化
埼　玉	白岡2山行政区会 山の公園企画運営部会	地域住民で作って来た公園に地域住民で植栽し花で彩る公園とする	地域美化
埼　玉	大谷川源流の会	大谷川水源の湧水の保全と周辺樹林地・水路の管理作業	自然
千　葉	カンナの会	地域の花植え活動及び花壇の整備	地域美化
千　葉	ひよしグリーンロード再生会	日吉台中央通り植樹帯の花植え植栽活動、街路樹整備活動	地域美化
千　葉	NPO大須賀川河童会	旧国道356沿の遊休地のお花畑と畦畔へ昔からの植物復活と清掃	地域美化
千　葉	光風台 花と緑の会	光風台5丁目法面の植樹管理と花壇及びミニ花壇の草取と植栽	地域美化
千　葉	新川千本桜の会	八千代市を流れる新川両岸に植栽された桜並木沿道の清掃活動実施	地域美化
千　葉	星久喜町県有地・市有地の緑化推進 プロジェクトチーム	星久喜町県有地・市有地（雑草が生い茂る荒地）の開墾緑化活動	地域美化
千　葉	ちば千年の森をつくる会	生物多様性保全をめざす超長期の森づくり	自然
千　葉	NPO法人 ちば里山センター	被害森林再生に資する多様な樹種の苗木育成のための種子採取	自然
千　葉	NPO法人 ちば森づくりの会	都市近郊に位置する千葉市の里山を森林施業で保護・保全する活動	自然
千　葉	椎の森里山会	袖ケ浦市椎の森自然環境保全緑地20haの森林及び散策路を整備	自然
千　葉	花園楽宴	里山再生活動家・サポーターの育成	自然
千　葉	earthFUNTRY!	レッツトライ! サステナブル! 歌とダンスで楽しく考える環境問題	エコ
千　葉	豊富どんぐりの森	里山活動で森の再生・保全、稀少植物の多様性の保全を図る。	自然
千　葉	NPO法人 UMINARI	海洋ごみ問題の普及啓発のためのビーチクリーン及び調査研究	自然
千　葉	NPO法人 さざなみ	耕作放棄田畑および山林の復元・維持による里山保全と環境教育	自然
千　葉	NPO法人 環境パートナーシップちば	里山文化を継承する親子三代対象の里山遊び体験イベント開催	総合
千　葉	ブリサ	荒廃した森林、竹林を再生し、多面的な機能を維持する	自然
千　葉	千葉菌類談話会	千葉県の菌類について調査・学習し野外観察会や講座を実施する	総合
千　葉	市原ルネッサンス	小湊鉄道線飯給駅を中心とした環境美化を行う里山活動	自然
千　葉	NPO法人 たてやま・海の鑑定団	館山市の沖ノ島を主なフィールドに海や森などの自然を知り守る活動	自然

東　京	東京の小学生とおでかけ	映画マイクロプラスチックストーリーの上映会と赤羽でのゴミ拾い	地域美化
東　京	パークシティ豊洲園芸クラブ	晴海通り沿いの桜並木に花壇を作り、地域住民や子供たちと交流	地域美化
東　京	さーくる・ガーデン・クラブ	目黒区立中目黒公園での無農薬、有機栽培の花壇作りボランティア	地域美化
東　京	豊洲シーサイドガーデン	江東区のコミュニティガーデンの維持管理	地域美化
東　京	NPO法人 渋谷さくら育樹の会	渋谷さくら通り植栽推進活動（フラワーロードプロジェクト）	地域美化
東　京	DEXTE-K	西なぎさ発：東京里海エイド	地域美化
東　京	明神町クラブ	八王子市東放射線アイロードの街路植え込みに花で飾ろう	地域美化
東　京	小田野中央公園まちづくりの会	公園内の草刈り、低木の剪定等の整備及び花壇の植栽・手入れ	地域美化
東　京	唐木田コミュニティセンター運営協議会	「花いっぱい運動」でつくる“絆”と称する植花育成活動	地域美化
東　京	氷川台自治会	花壇とプランターに花を植える	地域美化
東　京	act634府中	府中駅前スカイナードにおける市民参加の美化活動2023	地域美化
東　京	南泉公園グリーンクラブ	目黒区元競馬南泉公園での緑化活動を通じた安心安全なまちづくり	地域美化
東　京	エンジョイハーブの会	公園で季節の花とハーブの花壇作り	地域美化
東　京	とよ花の会	毎朝9時半、都道と区道と公園のゴミ拾いと花壇の手入れ	地域美化
東　京	南大沢4-15自治会	進む高齢化に対応した緑化プロジェクト	地域美化
東　京	ロータリーの会	高田馬場駅前ロータリー広場の散乱ゴミ問題解決を目指す活動	地域美化
東　京	川場美しいマチ研究会	都市民と農村民の交流による、農村風景の修景を目指した植花活動	地域美化
東　京	つどいの森ガーデナー倶楽部	毎週木曜日にガーデンの手入れと周辺の除草とゴミ拾いを行う	地域美化
東　京	なでしこの会	花を植え、手入れをする人も見る人も同じ気持ちで楽しむ街づくり	地域美化
東　京	お日の森くらぶ	里山（雑木林）の整備をし、かつての美しい里山の復元を図る。	自然
東　京	狛江水辺の楽校運営協議会	多摩川の環境保全清掃と環境学習の教材づくり	総合
東　京	ひなた緑地遊学会	小中学生の自然体験・環境学習を学ぶ、体験できる里山つくり	自然
東　京	五反舎	山を楽しみつつ、荒廃した人工林を健全な森へ育成する。	自然
東　京	22世紀の森づくり・神代	森の保全管理作業、植物調査、イベントを通して地域との交流	自然
東　京	小平井戸の会	災害時の生活用水の確保のために残された井戸の保存と供用の啓発	エコ
東　京	パウロの森くらぶ	地域が育んだパウロの森の豊かな自然や文化を次世代につなげる	総合
東　京	一般社団法人 OSUSOWAKE	地域の余剰食品のおすそわけで、フードロスと栄養不足の同時解決	エコ
東　京	池の沢に蛍を増やす会	蛍の生息地である水辺環境を守るため里山保全活動を行っている。	自然
東　京	枯れ沢復活&ホタルを飛ばす会	森林の土中環境改善をして枯れた沢を復活させ、ホタルを呼び戻す	自然
東　京	NPO法人 いろり	里と森林の間で生物多様性を生んできた茅場（草原）等の維持保全	自然
東　京	NPO法人 銀座ミツバチプロジェクト	持続可能な循環型社会・地域共生の構築	自然
東　京	NPO法人 くにたち 農園の会	都市農地・里山環境を活用した野外放課後児童クラブモデル事業	総合
東　京	NPO法人 森のようちえん 全国ネットワーク連盟	自然の中で育む環境教育、保育指導者養成活動	総合
東　京	東京湾再生官民連携フォーラム	東京湾再生のための「江戸前」の再興、生き物生息場の再生、「東京湾大感謝祭」の開催	自然
神奈川	湘南桂台みどりの会	湘南桂台花と緑でいっぱいのまちづくり	地域美化
神奈川	まちの活性化委員会	市内の環境美化と公園に花を咲かせています。	地域美化
神奈川	南足柄市姉妹都市交流協会	市内地域公民館の花壇に、毎年チューリップを植栽している。	地域美化
神奈川	ひだまり坂管理運営実行委員会	ひだまり坂の花壇を整備し、通学の安全を図る。	地域美化
神奈川	認定NPO法人 神奈川海難救助隊	東京湾全海域浮遊ごみゼロ作戦2023	自然
神奈川	NPO法人 相模原こもれび	相模原市木もれびの森73haのうち11.9haでの保全活動	自然
神奈川	横須賀里山田んぼ倶楽部	長年放置された森林を整備と復田することで生物多様性を図る。	自然
神奈川	NPO法人 湘南クリーンエイドフォーラム	東京の離島「新島」での海岸清掃活動とごみ調査活動	自然
神奈川	くずはの家ボランティアの会	自然観察施設くずはの広場内の環境整備、生物多様性の保全活動	自然
神奈川	NPO法人 エバーラスティング・ネイチャー	市民参加型アオウミガメのモニタリング調査と活動普及	野生
神奈川	NPO法人 Waveよこはま	リユース食器貸出しにより、ゴミやCO_2を減らす活動	エコ

神奈川	里山をきれいにする会すもあ	大磯町町有林の整備	自然
神奈川	北鎌倉湧水ネットワーク	六国見山の里山再生活動	自然
神奈川	景観まちづくり研究会・葉山	都市公園 南郷上ノ山公園内 斜面緑地等の保全・整備活動	自然
神奈川	かながわふぉれ☆'s	手入れ不足の人工林を整備し、良好な水環境を育む森林へ導く	自然
神奈川	NPO法人 緑のダム北相模	FSC（森林管理協議会）の精神に沿い、新しい森林創生事業を創出する事業を支援	自然

北信越

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
新　潟	塩谷分校	集落入口の県道の脇、約400kmに花の苗を植える	地域美化
新　潟	一般社団法人 にいがたヨガ協会	風土を生かして人を育む 日本海ビーチライフ盛り上げ隊!	自然
石　川	ポレポレ自然環境観察会	能登半島上野海岸での絶滅危惧種ウミミドリの生育地環境保全活動	野生
石　川	NPO法人 日本中国朱鷺保護協会	能登のトキ野生復帰に向けての普及啓発活動及び餌場の環境整備	野生
福　井	あわら市エコ市民会議	グリーンカーテンでカラフルな地域に	地域美化
福　井	NPO法人 里豊夢わかさ	里山の自然に触れ、遊びとモノづくりを楽しみ、生きる力を育む	総合
福　井	福井市自然体験交流推進協議会	2023ふくいさとやま農村学校	総合
山　梨	NPO法人 黒平自然の森学校	自然の魅力を伝えよう	総合
山　梨	認定NPO法人 富士山クラブ	富士山地域での総合的な環境活動	自然
長　野	上横道自治会	県道傍陽～菅平線1800m他の草刈りと清掃	地域美化
長　野	花仲間	町にある五か所の花壇の花植えならびに管理作業	地域美化
長　野	沖1班有志会	国道152号線沿い緑地帯・歩道の草刈り・清掃・植木剪定	地域美化
長　野	NPO法人 F.O.P	里山森林と永続的に関わる場所づくり・育成	自然
長　野	NPO法人 エコラ倶楽部	森林の整備及び環境保全活動の普及・啓発活動	自然

中部・東海

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
岐　阜	いびNPO法人連絡協議会	揖斐川流域クリーン大作戦と植樹活動	地域美化
岐　阜	NPO法人 竹林救援隊	荒廃竹林を整備し市民生活環境に寄与して子供達に喜びを。	自然
岐　阜	一般社団法人 よだか総合環境学習研究所	こどもフィールドセンター（仮）の環境整備+プログラム開発等	自然
岐　阜	NPO法人 長良川自然学校	川の学校（子供達が自分で考え行動する長良川での自然体験活動）	総合
岐　阜	Komorebi	森の整備をしながらSDGsの視点で環境問題を考える座談会開催	自然
岐　阜	NPO法人 活エネルギーアカデミー	森林保全・間伐材の利活用と定期物流システム・地域通貨の発行等	自然
静　岡	静岡・海辺づくりの会	花壇整備と清掃活動、自然観察会で地域環境を保全する	地域美化
静　岡	NPO法人 風	うるいがわたんけんたい	地域美化
静　岡	認定NPO法人 時ノ寿の森クラブ	市民参加による森づくりを持続するための森林保全の担い手確保	自然
静　岡	NPO法人 桶ケ谷沼を考える会	絶滅危惧種1A類指定のベッコウトンボ及びその生息地の保護保全	野生
静　岡	江川邸竹灯り実行委員会	地域課題の一つである放置竹林の解消と活用に向けた各種取組	自然
静　岡	NPO法人 熱海キコリーズ	熱海市を中心に森林保全活動を実施	自然
静　岡	二ツ池櫻と蓮の保勝会	二ツ池周辺区域の樹木等と蓮の管理	自然
静　岡	NPO法人 海プラスSOU	「里海の再生」として、アマモ場やガラモ場等の再生・保護活動	自然
愛　知	山口地域まちづくり協議会	地域内主要道路沿い歩道のゴミ拾いと歩道脇等の草刈り等地域美化	地域美化
愛　知	たんぽぽ	ゴミは分別・草は堆肥・人の輪で花と緑の街づくり活動	地域美化
愛　知	徳重学区連絡協議会	扇川緑道、公園及び道路の清掃・花植え	地域美化
愛　知	長根第一クラブ花の友の会	花壇の花植え、清掃、市内の一番大きな交差点横の歩道脇の花壇	地域美化
愛　知	大口町北地域自治組織	大口町内4か所で春・秋の2回、地域の方々と花植え活動を行う。	地域美化
愛　知	里山センチュリー	本證寺周辺の里山風景を生かし次世代に花育を伝えたい!巻込み編	地域美化

愛　知	**長根花の友の会**	地域住民が花作りを通じて絆を深め住みよい街づくりを行う	地域美化
愛　知	**がまごおり花フル会**	観光交流立市蒲郡を市民の手で花と緑のあふれるまちにする	地域美化
愛　知	**環境ボランティアサークル亀の子隊**	西の浜はゴミ箱じゃない!～西の浜クリーンアップ活動	地域美化
愛　知	**上ノ郷城跡保存研究会**	上ノ郷城跡スイセン花いっぱい活動の取り組み（3年次）	地域美化
愛　知	**山崎川グリーンマップ**	山崎川と周辺の在来種保護活動	自然
愛　知	**ふぁんふカンパニー**	静岡県の自然環境とそれに関わる問題について関心を持ち行動する	総合
愛　知	**とよた自然わくわくクラブ**	体験学習を通して自然を知り、自然の大切さを学んでもらう活動	総合
三　重	**志摩夢まちサポーターズ**	地域住民に参加を呼びかけ海岸清掃、会員による道路清掃	地域美化
三　重	**認定NPO法人 森林の風**	里山等森林総合環境学習施業・再生活動、森林施業研修会・森林環境教育等	自然
三　重	**NPO法人 もりずむ**	「森をつくる・いかす・つなぐ」事業と付加価値を高めた木材による持続可能な林業の確立	自然

近畿

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
滋　賀	**葉山川環境美化推進委員会**	葉山川堤防の環境保全活動に取り組みます	地域美化
滋　賀	**滋賀県レイカディア大学同窓会大津支部**	校庭園内の環境美化と花壇支援活動	地域美化
滋　賀	**久野部東 お助け隊**	地域交流の活性化を目指し交流拠点の整備、及び交流イベント支援	地域美化
滋　賀	**白鳥川の景観を良くする会**	白鳥川の桜並木整備で、市民憩いの散策路作りと環境学習支援	地域美化
滋　賀	**NPO法人 花と観音の里**	まちなかよし花壇プロジェクト	地域美化
滋　賀	**徳山環境保全会**	一級河川草野川の堤防を彼岸花植栽により整備し地域を活性化する	地域美化
滋　賀	**奄美大島におけるサシバ越冬個体群の保全対策推進調査実行委員会**	奄美大島で越冬するサシバ個体群の実態調査に基づく保護の推進	野生
滋　賀	**NPO法人 やまんばの会**	学童保育団体や企業等との連携による持続可能な里山の再生	自然
京　都	**籔の竹ぼうき**	物集女竹林道の清掃・間伐竹を使用した竹ぼうき作り	地域美化
京　都	**ohana会**	毎月1回の定例会および日々の管理作業、イベントの企画・運営	地域美化
京　都	**籔の傍**	ステップUP放置竹林の進行形	自然
京　都	**芦生 タカラの森**	シカ害による森林衰退の中で地域性苗木による森林の再生と啓蒙	自然
大　阪	**すみれ・花フレンズ**	SDGsの認識を種花事業で深めこの10年持続可能社会へ貢献を	地域美化
大　阪	**NPO法人 オーシャンゲート ジャパン**	生物多様性豊かな黒潮の海で、誰もが安心して参加できる体感学習	総合
大　阪	**大東環境みどり会**	荒廃した市有地を自然に親しみ、交流できる憩いの里山に再生する	自然
大　阪	**NPO法人 コクレオの森**	不登校の小中学生を対象とした里山の暮らしの中のエコ活動体験	総合
大　阪	**東お多福山草原保全・再生研究会**	東お多福山草原の保全と再生	自然
大　阪	**津之江公園を活かす会**	津之江公園自然再生エリアの維持管理、学習活動	自然
大　阪	**bioa**	自然や・農林体験に基づいた山とまちをつなぐ環境教育の推進	総合
大　阪	**なにわエコ会議**	淀川河口、淀川水系で、魚類、鳥類、水生昆虫等の観察会を行う	総合
大　阪	**NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター**	漁業と福祉との連携（漁福連携）による地域自然・文化の継承	自然
大　阪	**NPO法人 ナック**	荒廃が進む里山林の再生と竹林整備及び利活用促進プロジェクト	自然
大　阪	**チーム☆ガサ**	大阪湾でのガサを通じて自然の重要性・魅力を普及啓発する	自然
大　阪	**みさき里山クラブ**	子育ての森へ　子育て世代とシニアが取り組む里山の保全と活用	自然
兵　庫	**うやま花の会**	花と緑の美しい街並みをつくる活動	地域美化
兵　庫	**NPO法人 樹木研究会こうべ**	木のお医者さんと一緒に「木の生き方」を学ぼう	総合
兵　庫	**紫微嶺（シブレ）里山楽しむ会**	里山、里森林の保全活動	自然
兵　庫	**NPO法人 神戸海さくら**	須磨の自然と環境を学び豊かな海を守り育てる活動	自然
兵　庫	**NPO法人 奥播磨夢倶楽部**	奥播磨「森の再生とCO_2削減」モデル地域づくりプロジェクト	自然
兵　庫	**NPO法人 里野山家**	里地里山を仲間と再生する活動を通じて人と人の交流の場の醸成	自然
奈　良	**NPO法人 おおいわ結の里**	里山の景観保全と花いっぱいの村づくり	地域美化

奈　良	富雄団地ともに支え合う会	「団地情報」全戸配布、UR共同花壇、奈良市グリーンスポット植栽	地域美化
奈　良	里山の山野草を守る会	県レッドデータブックに記載されている自生山野草の保全と管理	自然
奈　良	NPO法人 市民省エネ・節電所ネットワーク	市民とともに省エネ・節電、さらにCO_2排出ゼロを目指す活動	エコ
奈　良	秋篠川源流を愛し育てる会	秋篠川源流域の環境保全ときれいな川実現に向けての啓発活動実施	自然
奈　良	一般社団法人 大和森林管理協会	地元苗を地元で育てる!陽楽の森から始まって帰ってくる植樹の輪	自然
奈　良	NPO法人 ないろサーカス団	障害者施設が、脱炭素活動と地域づくりを事業性を持って展開する	エコ
奈　良	一般社団法人 大和森林管理協会	竹林を伐採し、新たに広葉樹を植樹するための基礎整備	自然

中国・四国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
鳥　取	グラウンドワーク大山蒜山	オオムラサキとギフチョウ舞う大山山麓モザイク環境の保全活用	自然
島　根	馬路おこし会	日本遺産・国指定天然記念物「琴ヶ浜」鳴砂の保護・保全活動	自然
岡　山	真庭遺産研究会	オオサンショウウオ最後の楽園となった秘境の清流を守る	野生
広　島	プロジェクトチーム：ベイシティグリーンロード	都市計画道路中広宇品線の歩道の清掃と植樹桝の除草と植花活動	地域美化
広　島	山海環	太田川源流の棚田での里山整備とポーラス竹炭による水源涵養	自然
広　島	NPO法人 西中国山地自然史研究会	現代版の「里山コモンズ」を構築して、放棄される里山を保全する	自然
山　口	棚田清流の会	地域美化を目的に、休耕田に花を植える	地域美化
山　口	花鳥風月の会	地域の花壇整美と環境保全	地域美化
徳　島	鳴門市花街道・地域づくりネットワーク	ひまわり祭り・友好コスモス祭り・花街道づくり	地域美化
徳　島	江川奉仕橋かもクラブ	自然環境を活かして心の安らぎを生み、名所づくりで街の活性化。	地域美化
徳　島	NPO法人 徳島県森の案内人ネットワーク	親子里山体験講座	総合
徳　島	NPO法人 環境とくしまネットワーク	「脱過疎」災害に強いしくみづくり-エネ活用+モビリティ EV実証	エコ
徳　島	NPO法人 吉野川に生きる会	休耕地や荒れ地にバイオ桐を植え脱炭素社会の実現	自然
香　川	大野地区衛生組合協議会	ため池堤防へ水仙、公共施設への花苗植栽により緑化を推進する。	地域美化
愛　媛	天の川掃除人	重信川河川敷ごみ拾いボランティア	地域美化
愛　媛	一般社団法人 をかしや	せとうちインタープリター講座	総合

九州・沖縄

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
福　岡	ちとせコスモス街道	国道210号線バイパス沿い約4Kmのコスモス植栽の活動	地域美化
福　岡	東中間3丁目 友の会	地域の環境美化　公園整備	地域美化
福　岡	Pine tree garden 松崎花壇部	松崎駅前の花壇を整備し、町の顔として明るい景観づくりを行う	地域美化
福　岡	NPO法人 遠賀川流域住民の会	本会が遠賀川流域住民や関係団体に広く呼びかけ海岸清掃を行う	地域美化
福　岡	二日市東コミュニティ運営協議会	小学校校区内の地域内で花いっぱい運動の活動を行う。	地域美化
福　岡	大濠公園ガーデニングクラブ	県庁所在地福岡市にある大濠公園の池周り2kmの一部の花壇作り	地域美化
福　岡	NPO法人 はかた夢松原の会	国道202号国体道路におけるプランターや植栽帯に花植えを実施	地域美化
福　岡	筑紫南コミュニティ運営協議会	地域の公民館や小学校と連携して花いっぱい運動を展開する	地域美化
福　岡	NPO法人 リトルバンブー	JR小竹駅周辺の花壇を整備し明るい町の顔作りを行う。	地域美化
福　岡	舞鶴公園フラワーボランティア	花いっぱい舞鶴公園	地域美化
福　岡	津古ふるさと会	津古地域、宝珠川流域の環境美化活動	地域美化
福　岡	木守区	木守区内の桜公園・西川公園等の清掃及び植栽	地域美化
福　岡	なかまの環境を良くする会	やっちゃれエコライフ2023	エコ
福　岡	ウエットランドフォーラム	干潟環境の保全のための、観察会、啓発活動、啓発資料作成など	自然
福　岡	筑後小郡コウノトリの会	コウノトリの人工巣塔を設置するとともに育成環境を整備する	野生
福　岡	NPO法人 山村塾	里山での福祉～障がいをもった人との森づくりと薪づくり～	自然
福　岡	認定NPO法人 改革プロジェクト	ランナーによる離島漂着ごみ回収プログラムの実施	自然

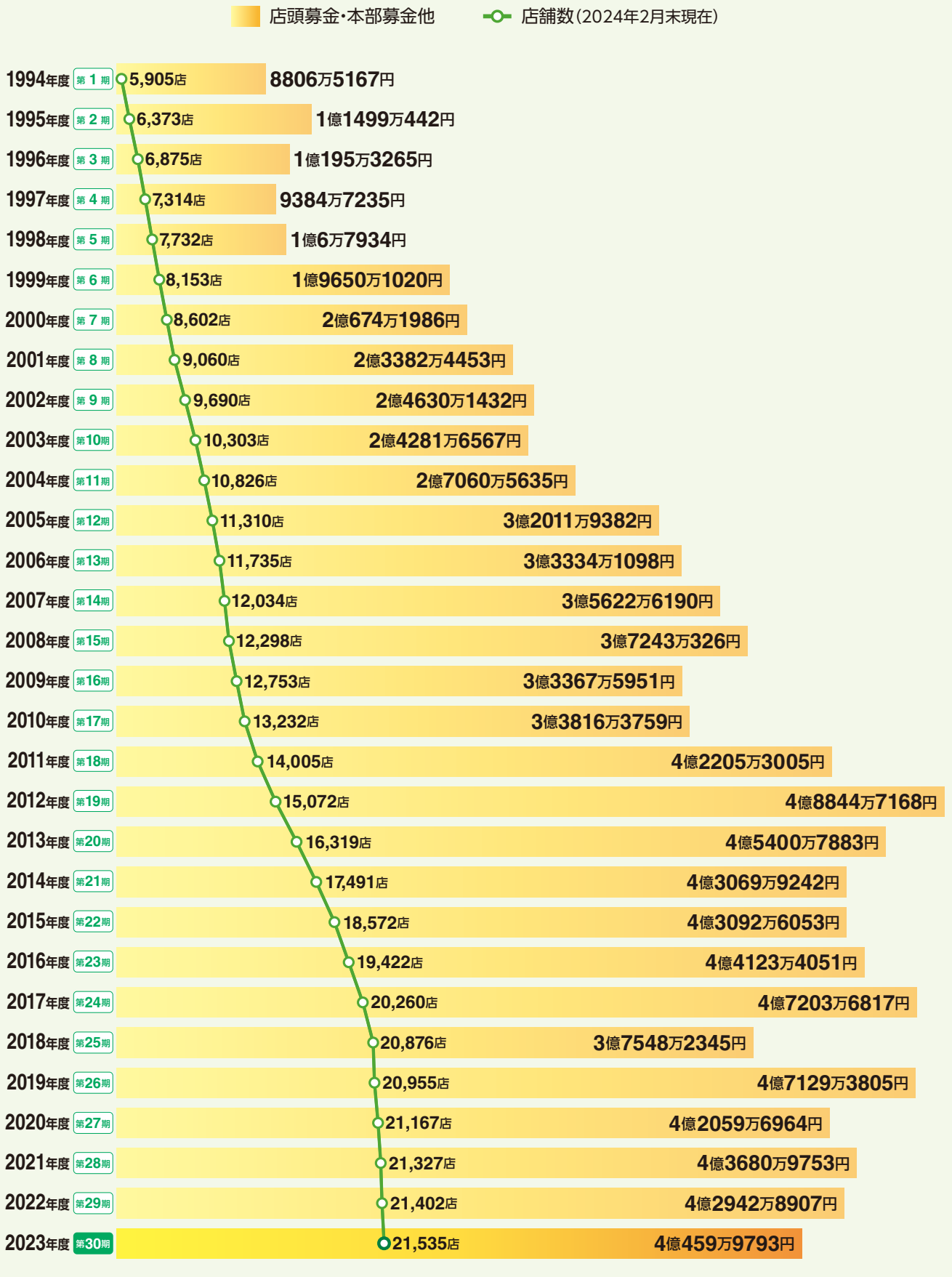
佐　賀	笑うて暮らそうやっ会	町中を花で飾る活動	地域美化
佐　賀	NPO法人 つなぎレンガ座	グリーンカーテン設置及び花植活動	地域美化
佐　賀	NPO法人 浜一街交流ネット唐津	陸からの回収が難しい海岸プラゴミを海から漁業者等により回収	自然
佐　賀	NPO法人 かいろう基山	森林を侵食する孟宗竹を伐採処理して、里山の保全を図る環境保全活動	自然
長　崎	team長崎シー・クリーン	世界遺産軍艦島が映える海の美化活動	地域美化
長　崎	蛍茶屋安心安全パトロール隊	地域の清掃活動を兼ねた夜間パトロール・地域の公園等の草刈り	地域美化
長　崎	茂木地区あじさいの会	茂木街道をあじさいでいっぱいにする地域活性化活動	地域美化
長　崎	出津地区まちづくり協議会	シバヤギ復活のまちづくり事業	自然
長　崎	温泉 四季の岳	針葉樹林を広葉樹林に変え、蛍が生息する森林公園を造る	自然
長　崎	くじられんごう	島民の気候変動問題への意識向上!島だから出来る取組を目指す!	エコ
熊　本	小山山里山づくり協議会	当該団体地域に所在する山林の一部を整備し、里山化復活を行う	地域美化
熊　本	山口公民館	山口公民館内の4つの自治区で花の植栽及び町山口川清掃	地域美化
熊　本	認定NPO法人 阿蘇花野協会	阿蘇の草原生態系を再生・保全し、阿蘇の野の花を未来に引き継ぐ	野生
熊　本	NPO法人 九州バイオマスフォーラム	薪の活用で森林保全と脱炭素の両立	自然
熊　本	フェアトレードシティくまもと推進委員会	チャリチャリで散策♪フェアトレードマップで楽しいエコ活動!	エコ
大　分	NPO法人 おおいた環境保全フォーラム	持続可能な地域社会の担い手育成のためのSDGs教育拠点の創出活動	総合
大　分	NPO法人 アースデイ中津	みんなでつながる防災・脱炭素対策・ゼロ・ウェイスト活動	エコ
大　分	白岳里山保繕会	地域のシンボルである白岳神社周辺の景観保全活動を行う	自然
大　分	一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会	シッティングビーチバレーボールで海浜環境改善	自然
大　分	妙音山を守る会	妙音山を中心に里山を含む周辺の自然環境整備と保全	自然
大　分	NPO法人 大分宇宙科学協会	横岳の成り立ちと里山の自然を学び魅力を伝える保全活動	自然
大　分	NPO法人 笑顔	里山自然を生かし野草薬草の再生と廃校整備による野草事業の創設	自然
大　分	千部もみじ村	地域の小学生の森林学習の場と地域住民の憩いの場作り	自然
大　分	飯田高原野焼実行委員会	野焼きによる草原の景観や生物多様性の保全を図る	自然
宮　崎	五ヶ所高原 ゴマ姫の草原を守る会	ゴマシジミが生息する五ヶ所高原を守り、次世代へ引き継ぐ。	野生
鹿児島	田代未来プロジェクト	閉校した小学校跡地の地域住民による協働緑化・美化活動	地域美化
鹿児島	NPO法人 愛らんどマルシェ	鹿児島市早馬バス停の花植え活動&甲突川草刈り清掃活動	地域美化
鹿児島	NPO法人 喜界島サンゴ礁科学研究所	サンゴ礁総合科学を通じた次世代国際リーダー育成拠点の形成	総合
沖　縄	みどり町一・二丁目自治会	子供達の通学路を花いっぱいにし安全・安心な街作り活動	地域美化
沖　縄	泡瀬第三自治会	地域のメイン通りを花いっぱいに	地域美化
沖　縄	八重瀬町長毛区美化委員会	長毛区全体の草刈りや木の剪定、花の植え付けをします。	地域美化
沖　縄	NPO法人 おきなわグリーンネットワーク	農地からの赤土等流出（土壌流出）防止活動を地域と連携して行う	総合
沖　縄	NPO法人 おきなわ環境クラブ	沖縄本島と宮古島で平地と川辺と海の森づくり活動	自然
沖　縄	西表在来植物の植栽で地域振興を進める会	海岸原風景を回復、造成地等を整備し、保全と学習の場とする	自然
沖　縄	兼箇段御願林蘇生会	森林の窒素固定機能を支援する活動の周知と温暖化防止意識の醸成	自然

全国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
全　国	NPO法人 海辺つくり研究会	沿岸域環境の保全・再生・創出や自然と共生する海辺つくりに関する事業	自然
	一般社団法人 日本環境NPOネットワーク	環境NPOリーダー海外研修の研修生が設立した全国規模のネットワーク組織の運営を支援	リーダー
	一般社団法人 環境パートナーシップ会議	地方EPOとの対面打ち合わせ、30周年フォーラムへの協力	その他

募金額の推移

第1期から第30期までの募金総額 96億2728万7628円



2023年度 活動報告

2023年		
通年		「札幌大通公園スポンサー花壇」に協賛
3月	20日	2022年度店頭募金総額ポスター 加盟店掲示開始（3/20～4/2）
4月	1日	第7回「山梨セブンの森」 93名参加 記念植樹（カエデ、ヒガンザクラ、キモクレン、ヤマボウシ　各1本）
	7日	「国立公園の環境保全活動に関する協力協定書」締結式開催
	8日	第2回「埼玉セブンの森」 51名参加 サクラソウの植栽、タケの伐採と運び出し、灌木類除去、モニタリング調査、環境学習
	15日	第14回「佐賀セブンの森」 42名参加 竹林整備、環境学習
	22日	第19回「広島セブンの森」 109名参加 広島スーパーマツの植樹（240本）、間伐作業、清掃活動
5月	13日	第32回「高尾セブンの森」 74名参加 沢地周辺の笹刈り・倒木処理
	17日	第8回「えりも岬セブンの森」 637名参加 植樹1,200本
	20日	第16回「東京湾UMIプロジェクト」 283名参加　アマモの花枝採取、生きもの観察、海岸清掃（開催場所：横浜海の公園）
	27日	第4回「大分セブンの森」 34名参加 特定外来生物オオハンゴンソウの駆除
	28日	第8回「滋賀セブンの森」 261名参加 湖畔清掃、小さな自然再生
6月	3日	第8回「福井セブンの森」 73名参加 下刈り、竹林整備
	3日	第10回「阪南セブンの海の森」 71名参加 海岸清掃、アマモの花枝採取、生きもの観察、特定外来生物ナルトサワギクの駆除
	10日	第19回「宮城セブンの森」 82名参加 ツル植物除去、下刈り
	11日	第5回「館山セブンの海の森」 122名参加 タブノキの植樹（100本）、海岸清掃
	17日	第6回「塩竈セブンの海の森」 112名参加 海岸清掃、アマモの花枝採取、生きもの観察
	17日	第11回「茨城セブンの森」 164名参加 下刈り、条件付特定外来生物アメリカザリガニの駆除、環境学習

2023年		
6月	24日	第10回「長野セブンの森」 77名参加 下刈り
	24日	第6回「霧多布セブンの森」 75名参加 海岸清掃、生きもの調査
	29日	「奈良セブンの森」事業にかかわる連携に関する協定締結式開催
7月	8日	第11回「三重セブンの森」 55名参加 山道づくり、添木撤去
	23日	第4回「青森セブンの海の森」 67名参加 海岸清掃、アマモの花枝採取、生きもの観察、ゴミの分別、漁礁づくり
8月	1日	「災害時における被災地支援に関する連携協定」締結式開催
	7日	第1回「日光国立公園整備活動」 61名参加 特定外来生物オオハンゴンソウの駆除
9月	3日	北海道森林スポーツフェスタ2023 in 支笏湖に特別協賛
	10日	第5回「大分セブンの森」 94名参加 防火帯の草寄せ、雑木の伐採（防火帯づくり）
	13日	「2023年度助成制度合同セミナー」をハイブリット開催 会場44名参加、オンライン147名参加
	15日	2024年度環境市民活動助成ポスター掲示開始（9/15～10/31）※外部配布
	15日	2024年度環境市民活動助成受付開始 「地域美化助成」9/15～10/5 「未来へつなごう助成」9/20～10/10 「活動助成」「NPO基盤強化助成」 10/11～10/31
	16日	第20回「宮城セブンの森」 41名参加 ツル植物除去、下刈り
	18日	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟「スカウトの日」を協賛
	24日	第9回「滋賀セブンの森」 232名参加 湖畔清掃・小さな自然再生
	30日	第33回「高尾セブンの森」 33名参加 沢地周辺の笹狩り、間伐処理
	30日	第15回「佐賀セブンの森」 46名参加 竹林整備、枯れタケ伐採と搬出

2023年		
10月	7日	第12回「三重セブンの森」　62名参加 サクラの植樹（10本）、山道づくり、添木撤去
	14日	第11回「長野セブンの森」　62名参加 下刈り
	14日	第7回「霧多布セブンの森」　52名参加 海岸清掃、生きもの観察
	20日 〜 22日	第15回「全国アマモサミット2023 in ふくおか、海辺の自然再生・高校生 サミット」に協賛
	22日	第12回「茨城セブンの森」　65名参加 下刈り、枯れ草の運び出し、条件付特定外来生物アメリカザリガニの駆除
	28日	第34回「高尾セブンの森」　74名参加 沢地周辺の笹刈り・間伐処理
	29日	第1回「霧島錦江湾国立公園保全活動」 64名参加　干潟清掃、生きもの観察
	30日	第9回「えりも岬セブンの森」　105名参加 枝打ち
11月	3日 〜 5日	第18回「森のようちえん全国交流フォーラム in千葉」に協賛
	4日	第8回「山梨セブンの森」　73名参加 山道整備、下刈り
	4日	第17回「東京湾UMIプロジェクト」 96名参加　アマモの播種、生きもの観察 （開催場所：横浜海の公園）
	5日	第1回「富士箱根伊豆国立公園整備活動」 53名参加　講座「箱根シカ塾」の受講、 現地確認
	11日	第7回「塩竈セブンの海の森」　74名参加 アマモの種子選別・播種、生きもの観察

2023年		
11月	11日	第9回「福井セブンの森」　52名参加 竹林整備、下刈り
	17日 〜 19日	「国際アマモブルーカーボンワークショップ」 に協賛
	25日	第20回「広島セブンの森」　123名参加 コナラの植樹（250本）、灌木類伐採、 清掃活動
	25日	第6回「館山セブンの海の森」　81名参加 アマモの苗床づくり、清掃活動
12月	2日	第11回「阪南セブンの海の森」　189名参加 海岸清掃、特定外来生物ナルトサワギクの駆除、アマモの播種
	2日	第3回「埼玉セブンの森」　57名参加 ヨシの運び出し、外来植物クワの除去、 記念樹の補植（クヌギ）、モニタリング調査
	7日	第35回「高尾セブンの森」　17名参加 沢地周辺の笹狩り、間伐処理
2024年		
1月	27日	富士山保全活動　186名参加 ふじのくに田子の浦みなと公園海岸清掃
	28日	第1回「瀬戸内海国立公園」整備活動 42名参加　瀬戸内アルプス登山道整備
2月	4日	第2回「富士箱根伊豆国立公園整備活動」 32名参加
	6日	第14回「脱炭素チャレンジカップ2024」 オンライン同時開催に共催
	15日	「森・里・川・海と人と人をつなぐ 脱炭素・ 生物多様性フォーラム」を開催 168名（会場50名、リモート118名）参加

トピックス TOPICS

2023年11月17日〜11月19日 「国際アマモブルーカーボンワークショップ」に協賛

セブン-イレブン記念財団は、ブルーカーボン生態系に関する最新知見の共有、海辺の保全・再生に取り組む団体の連携強化、取り組み推進を目指し、多様な関係者が参画する国際シンポジウムを協賛いたしました。

国内外のブルーカーボン生態系の保全・再生に向けた活動の共有を行い、今後の５〜10年の行動指針となる宣言を作成・発信し、漁業者、市民、行政、企業、子ども、学生が一体となり、ネットワークの構築と行動を起こすことの重要性を再認識しました。



2023年度（令和5年度）貸借対照表

2024年（令和6年）2月29日現在

（単位：円）

科 目	金 額
Ⅰ 資産の部	
1. 流動資産	
(1) 現金預金	1,947,132,086
(2) 未収金	140,000
(3) 貯蔵品	115,440
(4) 立替金	238,621
流動資産合計	1,947,626,147
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
譲渡性預金	300,000,000
基本財産合計	300,000,000
(2) 特定資産	
土地	12,155,251
特定資産合計	12,155,251
(3) その他固定資産	
建物	331,747
建物附属設備	6,183,032
構築物	970,306
機械装置	1,153,833
車両	525,132
什器備品	74,139
土地	26,991,164
ソフトウェア	2,080,650
リサイクル預託金	29,650
その他固定資産合計	38,339,653
固定資産合計	350,494,904
資産合計	2,298,121,051
Ⅱ 負債の部	
1. 流動負債	
(1) 所得税預り金	109,750
(2) 社会保険預り金	420,692
(3) 雇用保険預り金	229,136
(4) 賞与引当金	4,721,500
(5) その他の流動負債	15,753
流動負債合計	5,496,831
負債合計	5,496,831
Ⅲ 正味財産の部	
1. 指定正味財産	11,989,615
（うち特定資産への充当額）	(11,989,615)
2. 一般正味財産	2,280,634,605
（うち基本財産への充当額）	(300,000,000)
（うち特定資産への充当額）	(165,636)
正味財産合計	2,292,624,220
負債及び正味財産合計	2,298,121,051

2023年度（令和5年度）正味財産増減計算書

2023年（令和5年）3月1日から
2024年（令和6年）2月29日まで

（単位:円）

科 目	金 額
Ⅰ 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
募金収益	
店頭募金収入	404,599,793
その他の募金	15,432,307
募金収入合計	420,032,100
寄付金収益	
セブン-イレブン本部寄付金収入	138,116,081
その他寄付金収入	7,156,028
寄付金収入合計	145,272,109
その他の収益	
前年度助成残余金返還額	14,936,464
東京事務局事業収入	0
九重ふるさと自然学校事業収入	1,233,115
高尾の森自然学校事業収入	1,344,698
受取利息	38,920
その他	89,875
その他の収益合計	17,643,072
経常収益計	582,947,281
(2) 経常費用	
事業費	
公募助成事業費	161,842,320
地域活動支援事業費	16,235,309
自然環境保護・保全事業費	68,299,030
災害復興支援事業費	1,313,181
広報事業費	67,321,730
事業費合計	315,011,570
管理費	
給与手当	66,214,007
法定福利費	12,181,992
退職給付費用	3,513,411
旅費交通費	4,893,801
ボランティア活動支援費	815,770
理事会等関係費	2,814,489
募金箱関連備品制作費	53,306,000
その他	18,481,027
減価償却費	2,730,774
賞与引当金繰入額	8,611,500
管理費合計	173,562,771
経常費用計	488,574,341
当期経常増減額	94,372,940
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	94,372,940
一般正味財産期首残高	2,186,261,665
一般正味財産期末残高	2,280,634,605
Ⅱ 指定正味財産増減の部	
土地受贈益	261,276
当期指定正味財産増減額	261,276
指定正味財産期首残高	11,728,339
指定正味財産期末残高	11,989,615
Ⅲ 正味財産期末残高	2,292,624,220

概 要

名　　称	◆一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
理　事　長	◆太田敏夫（セブン-イレブン富士吉田おひめ坂通り店オーナー）
事業目的	◆環境をテーマに社会貢献活動に取り組む
事業内容	◆環境市民活動支援事業／自然環境保護・保全事業／災害復興支援事業／広報事業
事業資金	◆お店に寄せられた募金と(株)セブン-イレブン・ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金
設　立　日	◆1993年（平成5年）11月20日（セブン-イレブンみどりの基金）
事業開始日	◆1994年（平成6年）3月1日（セブン-イレブンみどりの基金）
財団設立日	◆2010年（平成22年）3月1日







SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



30by30

一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
TEL:03-6238-3872 FAX:03-3261-2513
https://www.7midori.org

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C121446
www.fsc.org

本誌は森林保全活動に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

VEGETABLE OIL INK

本誌は環境に配慮した植物油インキを使用しています。

ⓒ2024セブン-イレブン記念財団　001-2405-28000　S.K.K.